

# 令和5年度第1回普代村まち・ひと・しごと創生推進会議

日 時：令和5年12月26日（火）午後2時  
場 所：国民宿舎くろさき荘 大広間

## 会 議 次 第

1 開 会

2 あいさつ

3 委員紹介

4 協議事項

(1) 普代村総合発展計画、人口ビジョン及び総合戦略等の進捗状況について

(2) 地方創生関連交付金・地域再生計画事業の効果検証について

5 そ の 他

6 閉 会

### 【配布資料】

- ・普代村まち・ひと・しごと創生推進会議設置要綱
- ・普代村まち・ひと・しごと創生推進会議委員名簿
- ・協議事項（1）普代村総合発展計画、人口ビジョン及び総合戦略の進捗状況について
- ・協議事項（2）地方創生関連交付金・地域再生計画事業の効果検証について
- ・資料No.1 第5次総合発展計画及び第2期普代村まち・ひと・しごと創生総合戦略事業実施計画等進捗状況調書
- ・資料No.2 普代村まち・ひと・しごと創生総合戦略事業評価シート

改正

平成28年3月23日告示第15号

令和3年5月25日告示第19号

普代村まち・ひと・しごと創生推進会議設置要綱

(設置)

**第1条** 本村におけるまち・ひと・しごと創生（まち・ひと・しごと創生法（平成26年法律第136号。以下「法」という。）第1条に規定するまち・ひと・しごと創生をいう。）に関し、法第10条に規定するまち・ひと・しごと創生総合戦略（以下「総合戦略」という。）の策定、普代村総合発展計画及び総合戦略（以下「両計画」という。）における施策の効果等の検証等を行うため、普代村まち・ひと・しごと創生推進会議（以下「推進会議」という。）を設置する。

(所掌事務)

**第2条** 推進会議は、次に掲げる事項について審議するものとする。

- (1) 総合戦略の策定に関する事項
- (2) 両計画に係る施策、数値目標、重要業績評価指標の検証に関する事項
- (3) 両計画の見直しに係る提言等に関する事項
- (4) 前3号に掲げるもののほか、両計画に関し必要な事項

(組織)

**第3条** 推進会議は、委員22人以内をもって組織する。

2 委員は、次の各号に掲げるもののうちから、村長が委嘱する。

- (1) 普代村総合発展計画の策定時に普代村総合発展計画審議会委員であった者
- (2) 住民で組織する団体の代表者
- (3) 産業関係の代表者
- (4) 教育機関の代表者
- (5) 金融機関の代表者
- (6) 報道機関の代表者
- (7) 行政機関の代表者
- (8) その他村長が必要と認める者

(任期)

第4条 委員の任期は、2年とする。ただし、平成27年度に委嘱する場合の委員の任期については、平成29年3月31日までとする。

2 委員がかけた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

3 委員の再任は、妨げないものとする。

(会長及び代理者)

第5条 推進会議に会長を置き、委員の互選とする。

2 会長は、推進会議を代表し、会務を総理する。

3 会長に事故あるときは、あらかじめ会長が指名した者が、その職務を代理する。

(会議)

第6条 推進会議の会議（以下「会議」という。）は、会長が招集し、その議長となる。

2 会議は公開とする。

3 会長が必要と認めるときは、委員以外の者を会議に出席させ、意見を求めることができる。

(庶務)

第7条 推進会議における庶務は、総務課政策推進室において処理する。

(補則)

第8条 この要綱に定めるもののほか、推進会議の運営に関し必要な事項は、会長が定める。

附 則

この要綱は、公布の日から施行する。

附 則（平成28年3月23日告示第15号）

この告示は、平成28年4月1日から施行する。

附 則（令和3年5月25日告示第19号）

この告示は、公布の日から施行し、令和3年4月1日から適用する。

# 普代村まち・ひと・しごと創生推進会議委員名簿

敬称略、令和5年11月10日現在(任期:令和4年2月1日～令和6年1月31日)

	所 属 団 体 等	役 職	氏 名	構成区分
1	新岩手農業協同組合野田支所	支所長	高 橋 和 彦	産
2	久慈地方森林組合	参事	澤 口 敬 志	産
3	普代村漁業協同組合	参事代行	藤 島 省 治	産
4	普代商工会	事務局長	漆 久 保 光 明	産
5	普代村観光協会	事務局長	宮 田 修 幸	産
6	追手門学院大学地域創造学部	教授	山 本 博 史	学
7	岩手大学農学部	准教授	三 宅 諭	学
8	普代村農業委員会	会長	高 屋 敷 眞 作	官
9	普代村教育委員会	委員	畠 山 智 美	官
10	県北広域振興局経営企画部企画推進課	課長	山 本 章 博	官
11	久慈公共職業安定所	所長	高 橋 修	官
12	公益財団法人いきいき岩手支援財団 いきいき岩手結婚サポートセンター	センター長	後 藤 賢 弘	官
13	岩手銀行野田支店	支店長	高 橋 秀	金
14	普代村社会福祉協議会	事務局長	山 崎 長 蔵	労
15	岩手日報久慈支局	支局長	木 村 亮	言
16	和久喜美男税理士事務所	代表	和 久 喜 美 男	士
17	普代村行政連絡員協議会	会長	新 屋 喜 久 男	他
18	普代村消防団	団長	三 船 隆 久	他
19	社会福祉法人普代福祉会	副施設長・総務課長	大 村 克 伸	他
20	普代村地域づくりアドバイザー	-	橋 本 裕 之	他
21	普代商工会青年部	部長	金 子 太 一	他
22	はまゆり子ども園保護者会	会長	前 川 綾 乃	他



## 協議事項(1) 普代村総合発展計画、人口ビジョン及び総合戦略等の進捗状況について

本村では、令和3年度から令和7年度までの5年間における村づくりの基本構想と基本計画を定めた第5次普代村総合発展計画の到達目標に向けて、第5次普代村総合発展計画事業実施計画を策定し、毎年度の進捗管理を行っています。

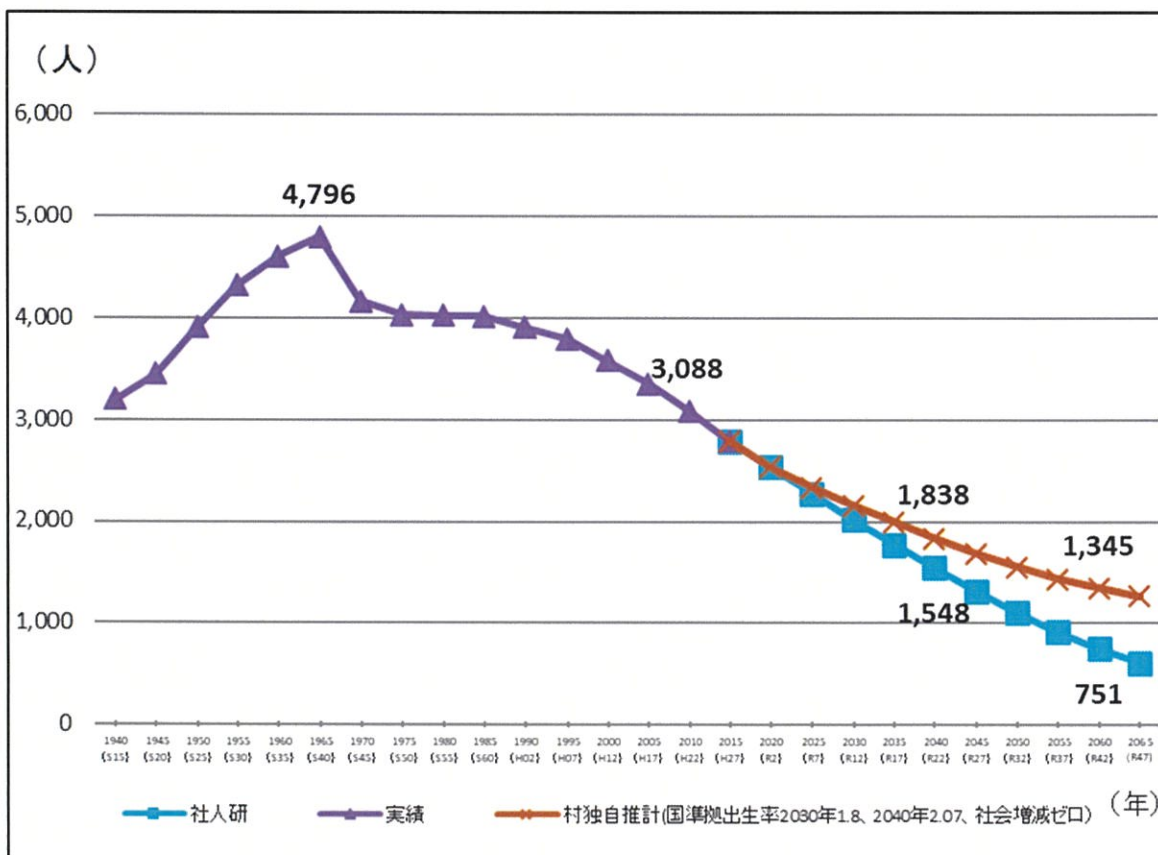
具体的には、計画に掲げる各基本施策の指標の目標値の達成状況及び個別事業の進捗状況を確認するとともに、村政懇談会や議会意見を踏まえた内部検討、中長期重点課題に係る内部協議、外部有識者会議等の意見をもとに、予算編成作業で取り組みの確認及び見直しを行っています。

今回は、令和4年度の進捗結果及び令和5年度の進捗状況について報告します。

### 1 普代村人口ビジョンにおける将来人口展望（※資料No.1 P1）

本村の人口ビジョンにおいては、「普代村まち・ひと・しごと創生総合戦略」を国、県の戦略を勘案した中で着実に推進し、人口の減少抑制を図り、出生率を国が目標とする2030年（令和12年）までに1.8、さらには、2040年（令和22年）以降に人口置換水準である2.07まで回復させる出生率の向上と、社会増減ゼロを実現し、一定の人口抑制に努める中で、2040年（令和22年）に1,838人、2060年（令和42年）に1,345人程度の人口を確保することとしています。

【表1】 普代村人口ビジョン



本村の令和5年10月1日現在の住民基本台帳人口は、2,379人(男1,195人、女1,184人)、前年比△66人となっています。減少要因は、自然減42人(出生9人、死亡51人)、社会減24人(転入45人、転出69人)、年齢構成では、0-4歳人口が50人(前年比△2人)、15-49歳女性人口が292人(前年比△20人)となっています。

また、普代村人口ビジョンのR2計画値2,532人と比較すると3年間で△153人、減少率6.0%という状況です。

なお、普代村人口ビジョンにおける直近のR7計画値(目標値)は2,337人としており、今後2年間で42人以下の人口減少の抑制に取り組んでいくことが求められています。

【表2】 普代村人口ビジョンの状況

区分	2015年 (平成27年)	2016年 (平成28年)	2017年 (平成29年)	2018年 (平成30年)	2019年 (令和元年)	2020年 (令和2年)	2021年 (令和3年)	2022年 (令和4年)	2023年 (令和5年)	2024年 (令和6年)	2025年 (令和7年)
総数	社人研推計	2,795	-	-	-	-	2,536	-	-	-	2,271
	計画値	2,795	-	-	-	-	2,532	-	-	-	2,337
	実績値	2,795	2,825	2,785	2,736	2,636	2,572	2,522	2,445	2,379	
	前年比	-	-	△40	△49	△100	△64	△50	△77	△66	
0~4歳	社人研推計	77	-	-	-	-	64	-	-	-	51
	計画値	77	-	-	-	-	60	-	-	-	61
	実績値	77	68	74	75	62	56	59	52	50	
	前年比	-	-	6	1	△13	△6	3	△7	△2	
15歳~49歳 (女性)	社人研推計	356	-	-	-	-	295	-	-	-	234
	計画値	356	-	-	-	-	295	-	-	-	275
	実績値	356	390	385	358	333	332	328	312	292	
	前年比	-	-	△5	△27	△25	△1	△4	△16	△20	
各年出生数	計画値	16.0	12.0	12.0	12.0	12.0	12.0	12.2	12.2	12.2	12.2
	実績値	16.0	5.0	17.0	15.0	13.0	10.0	11.0	6.0	9.0	
	前年比	-	-	12	△2	△2	△3	1	△5	3	
	参考：年度実績値	5.0	12.0	16.0	12.0	14.0	10.0	7.0	8.0		

【表3】 人口減少の推移(住民基本台帳人口)

(単位：人、%)

	R2	R3	R4	R5	3ヵ年増減
普代村	2,572 (-)	2,522 (-1.9)	2,445 (-3.1)	2,379 (-2.7)	-193 (-7.5)
岩手県	1,210,534 (-)	1,196,277 (-1.2)	1,180,512 (-1.3)	1,163,024 (-1.5)	-47,510 (-3.9)
全国	126,146,099 (-)	125,502,290 (-0.5)	124,830,000 (-0.5)	124,340,000 (-0.4)	-1,806,099 (-1.4)



## 2 第5次総合発展計画及び第2期総合戦略の目標指標の進捗状況

### (1) 第5次総合発展計画に係る目標指標の令和4年度進捗状況(確定値)(※資料No.1 P2~4)

第5次総合発展計画では、5つの基本目標の中の18の基本施策に関して62指標を設定しています。基本目標ごとの各指標の進捗状況についてご報告いたします。

基本目標1の「学ぶ喜びを村づくりにつなげよう」の各目標指標の進捗状況は、就学前教育及び社会教育等では、令和2年度から新型コロナウイルス感染症拡大の影響で施設利用制限や事業中止を余儀なくされていましたが、令和4年度は感染症対策の徹底を図りつつ可能な事業実施に努めたことから「はまゆり子ども園の地域イベント参加回数」は回復傾向にあります。学校等教育では、「不登校児童生徒出現率」が生じていることから、対象児童生徒それぞれにあった適時適切な支援の在り方を関係者で検討したうえで対応していくこととしています。また、コロナ禍においてGIGAスクール構想に基づき実施した「遠隔・オンライン学習の環境整備、GIGAスクール構想事業」により児童・生徒一人一台タブレット端末が整備され、「ICT活用数」の指標については順調に推移している状況となっています。

#### 【基本目標1 学ぶ喜びを村づくりにつなげよう】

目標区分	目標指標								
	項目	計算方法等	当初値(R2)	実績値					目標値(R7)
				R3	R4	R5	R6	R7	
基本目標1 学ぶ喜びを村づくりにつなげよう									
1 健康な体・豊かな心を育む就学前教育を充実する(就学前教育)									
	はまゆり子ども園の利用満足度 (※まちづくりアンケート結果)	単年 令和2年度	83.0%	-	-	-			93.0%
	はまゆり子ども園の地域イベント参加回数	単年 令和元年度	5回	0回	0回	5回			6回
	家庭教育セミナー等実施回数	単年 令和元年度	1回	0回	0回	0回			2回
2 未来を担う子どもたちの学びの環境を充実する(学校等教育)									
	学校教育に満足している村民の割合 (※まちづくりアンケート結果)	単年 令和2年度	75.6%	-	-	-			86.0%
	不登校児童生徒出現率	単年 令和元年度	3.92%	4.08%	2.02%	3.68%			0.0%
	小中一貫校(義務教育学校)整備数	単年 -	-	-	-	-			1校
	ICT活用数(小1-小3)	単年 令和元年度	月1回	月6回	月8回	月8回			週3回
	ICT活用数(小4-中3)	単年 令和元年度	月1回	月6回	小:月8回 中:毎日	小:月10回 中:毎日			毎日
3 誰もが学べる多様な学習環境を充実する(社会教育・体育・歴史・芸術文化、男女共同参画)									
	放課後子ども教室の利用満足度 (※まちづくりアンケート結果)	単年 令和2年度	77.3%	-	-	-			88.0%
	ふだいまなび講座参加者数	単年 令和元年度	66人	0人	0人	0人			100人
	昔代村図書館の図書貸出冊数 (※村民一人あたり)	単年 令和元年度	1.1冊	1.2冊	1.2冊	0.7冊			3.0冊
	はまゆりスポーツクラブの登録者数	単年 令和元年度	189人	182人	170人	157人			200人
	芸術文化協会加入団体数	単年 令和元年度	6団体	5団体	5団体	5団体			8団体
	男女共同参画社会の認識率 (※まちづくりアンケート結果)	単年 令和2年度	37.4%	-	-	-			50.0%

基本目標2の「未来を拓く活力ある産業を育てよう」の各目標指標の進捗状況は、水産業では、近年の地球温暖化の影響により、主要魚種である秋サケが不漁となる一方、イワシ・サバ等の好漁により「漁業販売取扱高」、「漁業販売取扱数量」は増加となりましたが、近年、頻繁に発生するスイクダムシによる被害や現下の原油価格高騰の影響により、養殖ワカメ・コンブの安定生産に支障が出る状況にあります。農林業では、コロナ禍の影響による消費低迷が続く中、「農業粗生産額」、「乾しいたけ販売数量」の農林産物の消費回復には至っていない状況となっています。商工業・起業促進・雇用対策では、「商工会会員数」は増加傾向にあります。観光では、「観光入り込み客数」、「三陸鉄道乗降客数」ともにコロナ禍前の観光客の需要回復には至っていない状況となっています。

【基本目標2 未来を拓く活力ある産業を育てよう】

目標区分	目標指標								
	項目	計算方法等	当初値 (R2)	実績値					目標値 (R7)
				R3	R4	R5	R6	R7	
基本目標2 未来を拓く活力ある産業を育てよう									
1 水産業の元気をつくる（水産業）									
	漁業販売取扱高 (※菅代村漁業協同組合業務報告書)	単年 令和元年度	788,267千円	726,533千円	670,261千円	1,001,213千円		788,267千円以上	
	漁業販売取扱数量 (※菅代村漁業協同組合業務報告書)	単年 令和元年度	6,512.5 t	6,071.8 t	6,388.2 t	8,582.7 t		6,512.5 t以上	
	漁業就業者支援による新規就業者数	累計 -	-	5人	5人	5人		5人	
2 農林業の元気をつくる（農林業）									
	農業粗生産額 (※JA出荷額)	単年 令和元年度	204,529千円	185,949千円	135,180千円	135,746千円		204,529千円以上	
	耕作放棄地面積	累計 令和元年度	11ha	12ha	11ha	10.9ha		11ha以下	
	乾しいたけ販売数量 (※JA、久慈地方森林組合出荷数量)	単年 令和元年度	4,139.7kg	3,433.8kg	1,776.8kg	1,987.8kg		4,139.7kg以上	
3 地域に根ざした産業を守り育てる（商工業、起業促進・雇用対策）									
	商工会会員数	単年 令和元年度	101人	101人	98人	100人		101人以上	
	製造品出荷額 (※岩手統計年鑑)	単年 平成29年度	5,249百万円	4,383百万円	未公表	未公表		5,249百万円以上	
	村支援制度による新規起業家数 (※菅代村起業支援事業補助金)	累計 -	-	0人	0人	0人		5人	
4 “青の国”を生かした観光の振興を図る（観光）									
	観光入り込み客数 (※岩手県観光統計)	単年 令和元年	71,200人	41,998人	45,676人	44,101人		76,998人	
	三陸鉄道乗降客数 (※菅代駅、白井駅、堀内駅)	単年 令和元年度	61,886人	48,143人	38,169人	41,403人		68,075人	



基本目標3の「健やかに、そして安心して暮らせる環境をつくろう」の各目標指標の進捗状況は、保健・医療では、「特定健康診査受診率」は若干減少したものの、高齢者福祉では、コロナ禍における健康志向の高まりから「介護予防ボランティア育成数」、「緊急通報システム設置数」は増加傾向にあります。また、子育て支援・少子化対策では、令和4年4月から子育て世代包括支援センターが保健センター内に設置され、各関係機関との連携による子育て世代のライフスタイルに応じた子育て支援の取り組みが進められています。地域福祉では、共生社会実現への世界的意識の高まりから、地域福祉計画策定に向けたアンケート結果における「成年後見センター認知度」は増加傾向にあります。

【基本目標3 健やかに、そして安心して暮らせる環境をつくろう】

目標区分	目標指標								
	項目	計算方法等	当初値 (R2)	実績値					目標値 (R7)
				R3	R4	R5	R6	R7	
基本目標3 健やかに、そして安心して暮らせる環境をつくろう									
1 心身の健やかな暮らしを支える（保健・医療）									
	特定健康診査受診率 (※国保加入者)	単年 令和元年度	45.6%	38.4%	45.8%	44.6%			60.0%
	医科・歯科常勤医師数	単年 令和2年度	2人	2人	2人	2人			2人
	医療対策に満足している村民の割合 (※まちづくりアンケート結果)	単年 令和2年度	61.8%	-	-	-			72.0%
2 高齢者の暮らしを支える（高齢者福祉）									
	介護予防ボランティア育成数	累計 令和元年度	27人	31人	33人	35人			40人
	緊急通報システム設置数	単年 令和元年度	3台	3台	4台	8台			10台
	シルバー人材センター登録者数	単年 令和元年度	43人	43人	42人	42人			55人
	高齢者サロン実施地区数	単年 令和元年度	2地区	3地区	4地区	4地区			13地区
3 障がい者の暮らしを支える（障がい者福祉）									
	施設入所者数	単年 令和元年度	13人	13人	12人	12人			12人
	施設利用者の一般就労移行者数	累計 令和元年度	0人	0人	0人	0人			1人
	障がい者支援に満足している村民の割合 (※まちづくりアンケート結果)	単年 令和2年度	59.2%	-	-	-			70.0%
4 子どもを産み育てやすい環境をつくる（子育て支援、少子化対策）									
	子育て世代包括支援センター設置数	累計 令和元年度	0箇所	0箇所	1箇所	1箇所			1箇所
	保育・子育て支援に満足している村民の割合 (※まちづくりアンケート結果)	単年 令和2年度	63.0%	-	-	-			73.0%
5 みんなで支え合い、助け合う福祉の村をつくる（地域福祉）									
	看護・介護・保育職養成奨学資金利用者数	累計 令和元年度	3人	3人	4人	4人			6人
	ボランティア団体数	累計 令和元年度	0団体	1団体	1団体	1団体			3団体
	成年後見センター認知度 (※アンケート結果)	単年 令和2年度	3.0%	-	-	10.5%			30.0%

基本目標4の「自然と共生する安全で快適な環境をつくろう」の各目標指標の進捗状況は、自然環境・環境衛生では、積極的な普及啓発活動などにより「生活系ごみ排出量」の減量化が図られている状況にあります。住環境・道路・簡易水道・汚水処理では、計画的な事業実施により「村道改良率」、「舗装率」、「水洗化率」の指標は順調に推移する一方、「村営住宅の新規整備戸数」は現時点での進捗はない状況ですが、既存村営住宅の長寿命化や村内一般住宅を買収し村営住宅化するなどの住宅対策の取り組みが実施されています。公共交通・情報・通信では、「三陸鉄道利用者数」、「村営バス等利用者数」とともにコロナ禍前までは回復しないものの、若干の増加傾向にあります。消防防災・防犯・交通安全対策では、「交通死亡事故の発生件数」は令和4年度の交通死亡事故は発生していません（累積2件）が、引き続き交通安全対策の徹底を図る必要があります。

【基本目標4 自然と共生する安全で快適な環境をつくろう】

目標区分	目標指標								
	項目	計算方法等	当初値 (R2)	実績値					目標値 (R7)
				R3	R4	R5	R6	R7	
基本目標4 自然と共生する安全で快適な環境をつくろう									
1 自然と共生する（自然環境、環境衛生）									
	温室効果ガス総排出量削減率（その他部門） 【2013年基準比（1,703t-CO2）】 ※環境省「自治体排出量カルテ」における毎年の伸び率による簡易的な算定方法により算出	単年 平成29年度	H29: 24.7% (1,283.1)	H30: 19.5% (1,371.6)	R01: 24.9% (1,278.3)	R02: 35.6% (1,096.8)			R12: 37.8%
	生活系ごみ排出量 (※1日1人あたり)	単年 令和元年度	785g	841g	738g	714g			636g
2 快適な生活環境を整備する（住環境、道路、簡易水道、汚水処理）									
	村営住宅の新規整備戸数	累計 -	-	0戸	0戸	0戸			5戸
	新規整備村営住宅の入居率	累計 -	-	0.0%	0.0%	0.0%			100.0%
	村道改良率	累計 令和元年度	53.8%	53.8%	53.7%	53.8%			53.8%以上
	村道舗装率	累計 令和元年度	57.4%	57.5%	57.5%	57.6%			57.4%以上
	老朽水道管の残存率	累計 令和元年度	5.73%	5.15%	5.15%	5.15%			5.0%
	水洗化率	累計 令和元年度	43.1%	43.6%	44.2%	45.2%			49.2%
3 交通体系、情報・通信施策を充実する（公共交通、情報・通信）									
	三陸鉄道利用者数	単年 令和元年度	908,645人	635,519人	607,316人	610,118人			908,645人以上
	村営バス等利用者数	単年 令和元年度	6,556人	5,820人	5,833人	5,983人			6,556人以上
	インターネット等普及率 (※インターネット及びスマートフォン保有世帯)	累計 -	-	-	-	-			100.0%
4 安全・安心の村づくりを推進する（消防防災、防犯・交通安全対策）									
	消防団員数	単年 令和元年度	141人	139人	134人	134人			150人
	自主防災組織数	累計 令和元年度	2団体	2団体	2団体	2団体			3団体
	詐欺被害の件数	累計 -	-	0件	0件	0件			0件
	交通死亡事故の発生件数	累計 -	-	1件	2件	2件			0件



基本目標5の「明日を拓く持続可能な仕組みをみんなでつくろう」の各目標指標の進捗状況は、地域づくり・移住定住・広聴・広報では、移住者誘致施策の推進により「地域おこし協力隊制度による定住者数」は累積で9人と順調に推移している状況にあります。行財政では、「財政健全化判断比率の実質公債費比率」、「村税の収納率」の指標は順調に推移し、財政の健全化が保たれている状況となっています。また、自治体DX推進の基本となる「マイナンバーカード交付率」は、国によるポイント付与などの取り組み等により、大きく増加しています。

【基本目標5 明日を拓く持続可能な仕組みをみんなでつくろう】

目標区分	目標指標								
	項目	計算方法等	当初値 (R2)	実績値					目標値 (R7)
				R3	R4	R5	R6	R7	
基本目標5 明日を拓く持続可能な仕組みをみんなでつくろう									
1 村民と行政の協働の村づくりを推進する（地域づくり、移住定住、広聴・広報）									
	地域振興施策に満足している村民の割合 (※まちづくりアンケート結果)	単年 令和2年度	62.8%	-	-	-			73.0%
	地域おこし協力隊制度による定住者数	累計 令和元年度	3人	4人	7人	9人			10人
	村政懇談会参加者数	単年 令和元年度	165人	123人	35人 <small>※一部書面開催</small>	140人			165人以上
2 自立した行財政運営を推進する（行財政）									
	財政健全化判断比率の実質公債費比率	単年 令和元年度	10.2%	9.6%	9.4%	9.1%			15%以下
	村税（現年分）収納率	単年 令和元年度	96.9%	98.81%	98.35%	98.77%			99.3%
	職員研修の実施回数	単年 令和元年度	2回	1回	1回	1回			4回
	マイナンバーカード交付率	単年 令和元年度	10.7%	21.4%	31.9%	63.0%			90.0%

(2) 第2期総合戦略に係る目標指標の令和4年度進捗状況(確定値)(※資料No.1 P5)

第2期総合戦略では、4つの基本目標に関して10指標を設定していますので、各指標の進捗状況についてご報告いたします。

「人口一人当たり村民所得水準」、「合計特殊出生率」については、目標水準を維持している状況にあります。また、「人口の社会増減ゼロ」については、令和4年度末時点で△8人と転入者は増加傾向にあり、引き続き、移住定住施策の推進を図ることが求められています。

【第2期総合戦略】

目標区分	目標指標									
	項目	計算方法等	当初値(R2)	実績値					目標値(R7)	
				R3	R4	R5	R6	R7		
基本目標1 “にぎわい”を創出する村づくり										
1 水産業の元気をつくる(水産業)										
2 農林業の元気をつくる(農林業)										
3 地域に根ざした産業を守り育てる(高工業、起業促進・雇用対策)										
人口の社会増減ゼロ		単年 令和元年度	△35人	△28人 (※転入62、転出44)	△35人 (※転入38、転出73)	△8人 (※転入54、転出62)				0人
人口一人当たり村民所得水準 (※市町村平均=100)		単年 平成29年度	113.1 (※3,129千円)	110.9 (※3,120千円)	102.5 (※2,850千円)	108.7 (※2,896千円)				100.0以上
基本目標2 “明日への希望もかなえる”つむぎ”の村づくり										
1 誰もが学べる多様な学習環境を充実する(男女共同参画)										
2 子どもを産み育てやすい環境をつくる(子育て支援、少子化対策)										
3 快適な生活環境を整備する(住環境)										
合計特殊出生率 (※保健福祉年報(人口動態編))		単年 平成30年	2.27	2.19	1.83	1.92				1.80以上
女性人口(15-49歳)比率 (※1960=100)		単年 2015年	34	29 (※2019集計調査年:32A)	29 (※2019集計調査年:32A)	29 (※2019集計調査年:32A)				34以上
基本目標3 “やすらぎ”を感じ続けられる村づくり										
1 高齢者の暮らしを支える(高齢者福祉)										
2 障がい者の暮らしを支える(障がい福祉)										
3 交通体系、情報・通信施策を充実する(公共交通、情報・通信)										
4 安全・安心の村づくりを推進する(消防防災、防犯・交通安全対策)										
5 村民と行政の協働の村づくりを推進する(地域づくり)										
村に住み続けたい人の割合の上昇 (※まちづくりアンケート結果)		単年 令和2年度	61.8%	-	-	-				61.8%を上回る
村を転出したい人の割合の低下 (※まちづくりアンケート結果)		単年 令和2年度	12.7%	-	-	-				12.7%を下回る
基本目標4 “つながり”が大きく広がる村づくり										
1 誰もが学べる多様な学習環境を充実する(社会教育・体育、歴史・芸術文化)										
2 “青の国”を生かした観光の振興を図る(観光)										
3 村民と行政の協働の村づくりを推進する(移住定住、広聴・広報)										
村への愛着度が高い人の割合の上昇(村内居住者) (※まちづくりアンケート結果)		単年 令和2年度	80.2%	-	-	-				80.2%を上回る
村への愛着度が高い人の割合の上昇(村外居住者) (※まちづくりアンケート結果)		単年 令和2年度	89.8%	-	-	-				89.8%を上回る
村への愛着度が低い人の割合の低下(村内居住者) (※まちづくりアンケート結果)		単年 令和2年度	17.9%	-	-	-				17.9%を下回る
村への愛着度が低い人の割合の低下(村外居住者) (※まちづくりアンケート結果)		単年 令和2年度	7.7%	-	-	-				7.7%を下回る



(3) 第5次総合発展計画及び第2期総合戦略事業実施計画の進捗状況(※資料No.1 P6~13)

令和4年度の事業実施計画では、124事業、総事業費1,187百万円の各事業を計画しました。基本目標毎の進捗状況は「表4」のとおりです。全体で、130事業、総事業費1,418百万円、進捗率119.5%という状況です。また、令和5年度の事業実施計画では、115事業、総事業費1,755百万円の各事業を計画しました。基本目標毎の進捗状況は「表5」のとおりです。全体で、137事業、総事業費1,742百万円、進捗率99.3%という状況です。

コロナ禍で、計画事業の中止・縮小を余儀なくされる一方、コロナ禍に加え原油価格・物価高騰など現下の社会動向に的確に対応するため、「物価高騰対策地域商品券給付事業」、「電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援事業」など生活者・事業者の負担軽減に向けた新規事業が追加されています。また、日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震における津波浸水想定を踏まえた「防災ハザードマップ作成事業」、「防災行政無線屋外スピーカー増設事業」など防災・減災対策に向けた新規事業も追加されています。

【表4】 <R4 確定値>第5次総合発展計画及び第2期総合戦略

(単位:百万円)

目標区分	計画値	進捗状況(確定値/決算額)	
	事業費(※事業数)	事業費(※事業数)	進捗率
基本目標1 学ぶ喜びを村づくりにつなげよう	213(15)	51(14)	23.9%
基本目標2 未来を拓く活力ある産業を育てよう	201(31)	345(34)	171.6%
基本目標3 健やかに、そして安心して暮らせる環境をつくろう	95(24)	132(32)	138.9%
基本目標4 自然と共生する安全で快適な環境をつくる	438(26)	466(27)	106.4%
基本目標5 明日を拓く持続可能な仕組みをみんなでつくろう	240(28)	424(23)	176.7%
計	1,187(124)	1,418(130)	119.5%

【表5】 <R5 暫定値>第5次総合発展計画及び第2期総合戦略

(単位:百万円)

目標区分	計画値	進捗状況(暫定値/現計予算額)	
	事業費(※事業数)	事業費(※事業数)	進捗率
基本目標1 学ぶ喜びを村づくりにつなげよう	121(14)	120(14)	99.2%
基本目標2 未来を拓く活力ある産業を育てよう	1,095(30)	698(38)	63.7%
基本目標3 健やかに、そして安心して暮らせる環境をつくろう	95(24)	122(30)	128.4%
基本目標4 自然と共生する安全で快適な環境をつくる	254(22)	290(26)	114.2%
基本目標5 明日を拓く持続可能な仕組みをみんなでつくろう	190(25)	512(29)	269.5%
計	1,755(115)	1,742(137)	99.3%

## 協議事項(2) 地方創生関連交付金・地域再生計画事業の効果検証について

令和5年12月1日、令和5年度第1回普代村地域創生・人口減少対策本部会議において、下記のとおり令和4年度における地方創生関連交付金・地域再生計画事業の内部効果検証作業を実施いたしました。

国の地方創生関連交付金・地域再生計画事業においては、外部機関による事業効果検証が義務付けられており、下記について取り組みの検証と外部評価をお願いするものです。

### 記

#### 1 令和4年度における地方創生関連交付金・地域再生計画事業

別添のとおり（資料No.2 普代村まち・ひと・しごと創生総合戦略事業評価シート）

# 第5次普代村総合発展計画及び第2期普代村まち・ひと・しごと創生総合戦略

## 事業実施計画等進捗状況調査

(令和3年度～令和7年度)

**笑顔が満ちあふれた、北緯40度の地球村普代**

～まちがにぎわい、風土をつむぎ、やすらぎを感じ、人と人とながりがりありあう青の国を～



令和5年12月1日

岩手県 普代村





普代村人口ビジョンにおける将来人口展望（令和3年3月改定 村独自推計）

令和5年12月1日

区分		2015年 (平成27年)	2016年 (平成28年)	2017年 (平成29年)	2018年 (平成30年)	2019年 (令和元年)	2020年 (令和2年)	2021年 (令和3年)	2022年 (令和4年)	2023年 (令和5年)	2024年 (令和6年)
総数	社人研推計	2,795	-	-	-	-	2,536	-	-	-	-
	計画値	2,795	-	-	-	-	2,532	-	-	-	-
	実績値	2,795	2,825	2,785	2,736	2,636	2,572	2,522	2,445	2,379	
	前年比	-	-	△40	△49	△100	△64	△50	△77	△66	
0～4歳	社人研推計	77	-	-	-	-	64	-	-	-	-
	計画値	77	-	-	-	-	60	-	-	-	-
	実績値	77	68	74	75	62	56	59	52	50	
	前年比	-	-	6	1	△13	△6	3	△7	△2	
15歳～49歳 (女性)	社人研推計	356	-	-	-	-	295	-	-	-	-
	計画値	356	-	-	-	-	295	-	-	-	-
	実績値	356	390	385	358	333	332	328	312	292	
	前年比	-	-	△5	△27	△25	△1	△4	△16	△20	
各年出生数	計画値	16.0	12.0	12.0	12.0	12.0	12.0	12.2	12.2	12.2	12.2
	実績値	16.0	5.0	17.0	15.0	13.0	10.0	11.0	6.0	9.0	
	前年比	-	-	12	△2	△2	△3	1	△5	3	
	参考：年度実績値	5.0	12.0	16.0	12.0	14.0	10.0	7.0	8.0		
区分		2025年 (令和7年)	2026年 (令和8年)	2027年 (令和9年)	2028年 (令和10年)	2029年 (令和11年)	2030年 (令和12年)	2031年 (令和13年)	2032年 (令和14年)	2033年 (令和15年)	2034年 (令和16年)
総数	社人研推計	2,271	-	-	-	-	2,017	-	-	-	-
	計画値	2,337	-	-	-	-	2,159	-	-	-	-
	実績値										
	前年比										
0～4歳	社人研推計	51	-	-	-	-	39	-	-	-	-
	計画値	61	-	-	-	-	62	-	-	-	-
	実績値										
	前年比										
15歳～49歳 (女性)	社人研推計	234	-	-	-	-	178	-	-	-	-
	計画値	275	-	-	-	-	248	-	-	-	-
	実績値										
	前年比										
各年出生数	計画値	12.2	12.4	12.4	12.4	12.4	12.4	12.4	12.4	12.4	12.4
	実績値										
	前年比										
	参考：年度実績値										
区分		2035年 (令和17年)	2036年 (令和18年)	2037年 (令和19年)	2038年 (令和20年)	2039年 (令和21年)	2040年 (令和22年)	2041年 (令和23年)	2042年 (令和24年)	2043年 (令和25年)	2044年 (令和26年)
総数	社人研推計	1,781	-	-	-	-	1,547	-	-	-	-
	計画値	1,995	-	-	-	-	1,838	-	-	-	-
	実績値										
	前年比										
0～4歳	社人研推計	31	-	-	-	-	25	-	-	-	-
	計画値	62	-	-	-	-	66	-	-	-	-
	実績値										
	前年比										
15歳～49歳 (女性)	社人研推計	135	-	-	-	-	109	-	-	-	-
	計画値	225	-	-	-	-	223	-	-	-	-
	実績値										
	前年比										
各年出生数	計画値	12.4	13.2	13.2	13.2	13.2	13.2	13.4	13.4	13.4	13.4
	実績値										
	前年比										
	参考：年度実績値										

※1 村独自推計：計画値は出生率の向上(2030年1.80、2040年2.07)と社会増減ゼロを実現した場合の人口推計（令和3年3月改定）

※2 国勢調査年（2015年）以外は、各年10月1日現在の住民基本台帳人口による



第5次普代村総合発展計画 目標指標の進捗状況

令和5年12月1日

目標区分	目標指標								
	項目	計算方法等	当初値 (R2)	実績値					目標値 (R7)
				R3	R4	R5	R6	R7	
基本目標1 学ぶ喜びを村づくりにつなげよう									
1 健康な体・豊かな心を育む就学前教育を充実する(就学前教育)									
	はまゆり子ども園の利用満足度 (※まちづくりアンケート結果)	単年 令和2年度	83.0%	—	—	—			93.0%
	はまゆり子ども園の地域イベント参加回数	単年 令和元年度	5回	0回	0回	5回			6回
	家庭教育セミナー等実施回数	単年 令和元年度	1回	0回	0回	0回			2回
2 未来を担う子どもたちの学びの環境を充実する(学校等教育)									
	学校教育に満足している村民の割合 (※まちづくりアンケート結果)	単年 令和2年度	75.6%	—	—	—			86.0%
	不登校児童生徒出現率	単年 令和元年度	3.92%	4.08%	2.02%	3.68%			0.0%
	小中一貫校(義務教育学校)整備数	単年 —	—	—	—	—			1校
	I C T活用数(小1-小3)	単年 令和元年度	月1回	月6回	月8回	月8回			週3回
	I C T活用数(小4-中3)	単年 令和元年度	月1回	月6回	小:月8回 中:毎日	小:月10回 中:毎日			毎日
3 誰もが学べる多様な学習環境を充実する(社会教育・体育・歴史・芸術文化、男女共同参画)									
	放課後子ども教室の利用満足度 (※まちづくりアンケート結果)	単年 令和2年度	77.3%	—	—	—			88.0%
	ふだいまなび講座参加者数	単年 令和元年度	66人	0人	0人	0人			100人
	普代村図書室の図書貸出冊数 (※村民一人あたり)	単年 令和元年度	1.1冊	1.2冊	1.2冊	0.7冊			3.0冊
	はまゆりスポーツクラブの登録者数	単年 令和元年度	189人	182人	170人	157人			200人
	芸術文化協会加入団体数	単年 令和元年度	6団体	5団体	5団体	5団体			8団体
	男女共同参画社会の認識率 (※まちづくりアンケート結果)	単年 令和2年度	37.4%	—	—	—			50.0%
基本目標2 未来を拓く活力ある産業を育てよう									
1 水産業の元気をつくる(水産業)									
	漁業販売取扱高 (※普代村漁業協同組合業務報告書)	単年 令和元年度	788,267千円	726,533千円	670,261千円	1,001,213千円			788,267千円以上
	漁業販売取扱数量 (※普代村漁業協同組合業務報告書)	単年 令和元年度	6,512.5t	6,071.8t	6,388.2t	8,582.7t			6,512.5t以上
	漁業就業者支援による新規就業者数	累計 —	—	5人	5人	5人			5人
2 農林業の元気をつくる(農林業)									
	農業粗生産額 (※JA出荷額)	単年 令和元年度	204,529千円	185,949千円	135,180千円	135,746千円			204,529千円以上
	耕作放棄地面積	累計 令和元年度	11ha	12ha	11ha	10.9ha			11ha以下
	乾しいたけ販売数量 (※JA、久慈地方森林組合出荷数量)	単年 令和元年度	4,139.7kg	3,433.8kg	1,776.8kg	1,987.8kg			4,139.7kg以上
3 地域に根ざした産業を守り育てる(商工業、起業促進・雇用対策)									
	商工会会員数	単年 令和元年度	101人	101人	98人	100人			101人以上
	製造品出荷額 (※岩手統計年鑑)	単年 平成29年度	5,249百万円	4,383百万円	未公表	未公表			5,249百万円以上
	村支援制度による新規就業者数 (※普代村起業支援事業補助金)	累計 —	—	0人	0人	0人			5人
4 "青の国"を生かした観光の振興を図る(観光)									
	観光入り込み客数 (※岩手県観光統計)	単年 令和元年	71,200人	41,998人	45,676人	44,101人			76,998人
	三陸鉄道乗降客数 (※普代駅、白井駅、堀内駅)	単年 令和元年度	61,886人	48,143人	38,169人	41,403人			68,075人
基本目標3 健やかに、そして安心して暮らせる環境をつくろう									
1 心身の健やかな暮らしを支える(保健・医療)									
	特定健康診査受診率 (※国保加入者)	単年 令和元年度	45.6%	38.4%	45.8%	44.6%			60.0%
	医科・歯科常勤医師数	単年 令和2年度	2人	2人	2人	2人			2人



目標区分	目標指標								
	項目	計算方法等	当初値 (R2)	実績値					目標値 (R7)
				R3	R4	R5	R6	R7	
	医療対策に満足している村民の割合 (※まちづくりアンケート結果)	単年 令和2年度	61.8%	-	-	-	-	-	72.0%
<b>2 高齢者の暮らしを支える (高齢者福祉)</b>									
	介護予防ボランティア育成数	累計 令和元年度	27人	31人	33人	35人	-	-	40人
	緊急通報システム設置数	単年 令和元年度	3台	3台	4台	8台	-	-	10台
	シルバー人材センター登録者数	単年 令和元年度	43人	43人	42人	42人	-	-	55人
	高齢者サロン実施地区数	単年 令和元年度	2地区	3地区	4地区	4地区	-	-	13地区
<b>3 障がい者の暮らしを支える (障がい者福祉)</b>									
	施設入所者数	単年 令和元年度	13人	13人	12人	12人	-	-	12人
	施設利用者の一般就労移行者数	累計 令和元年度	0人	0人	0人	0人	-	-	1人
	障がい者支援に満足している村民の割合 (※まちづくりアンケート結果)	単年 令和2年度	59.2%	-	-	-	-	-	70.0%
<b>4 子どもを産み育てやすい環境をつくる (子育て支援、少子化対策)</b>									
	子育て世代包括支援センター設置数	累計 令和元年度	0箇所	0箇所	1箇所	1箇所	-	-	1箇所
	保育・子育て支援に満足している村民の割合 (※まちづくりアンケート結果)	単年 令和2年度	63.0%	-	-	-	-	-	73.0%
<b>5 みんなで支え合い、助け合う福祉の村をつくる (地域福祉)</b>									
	看護・介護・保育職養成奨学資金利用者数	累計 令和元年度	3人	3人	4人	4人	-	-	6人
	ボランティア団体数	累計 令和元年度	0団体	1団体	1団体	1団体	-	-	3団体
	成年後見センター認知度 (※アンケート結果)	単年 令和2年度	3.0%	-	-	10.5%	-	-	30.0%
基本目標4 自然と共生する安全で快適な環境をつくろう									
<b>1 自然と共生する (自然環境、環境衛生)</b>									
	温室効果ガス総排出量削減率 (その他部門) 【2013年基準比 (1,703t-CO2)】 ※環境省「自治体排出量カルテ」における毎年の伸び率による簡易的な算定方法により算出	単年 平成29年度	H29 : 24.7% (1,283.1)	H30 : 19.5% (1,371.6)	R01 : 24.9% (1,278.3)	R02 : 35.6% (1,096.8)	-	-	R12 : 37.8%
	生活系ごみ排出量 (※1日1人あたり)	単年 令和元年度	785g	841g	738g	714g	-	-	636g
<b>2 快適な生活環境を整備する (住環境、道路、簡易水道、污水处理)</b>									
	村営住宅の新規整備戸数	累計 -	-	0戸	0戸	0戸	-	-	5戸
	新規整備村営住宅の入居率	累計 -	-	0.0%	0.0%	0.0%	-	-	100.0%
	村道改良率	累計 令和元年度	53.8%	53.8%	53.7%	53.8%	-	-	53.8%以上
	村道舗装率	累計 令和元年度	57.4%	57.5%	57.5%	57.6%	-	-	57.4%以上
	老朽水道管の残存率	累計 令和元年度	5.73%	5.15%	5.15%	5.15%	-	-	5.0%
	水洗化率	累計 令和元年度	43.1%	43.6%	44.2%	45.2%	-	-	49.2%
<b>3 交通体系、情報・通信施策を充実する (公共交通、情報・通信)</b>									
	三陸鉄道利用者数	単年 令和元年度	908,645人	635,519人	607,316人	610,118人	-	-	908,645人以上
	村営バス等利用者数	単年 令和元年度	6,556人	5,820人	5,833人	5,983人	-	-	6,556人以上
	インターネット等普及率 (※インターネット及びスマートフォン保有世帯)	累計 -	-	-	-	-	-	-	100.0%
<b>4 安全・安心の村づくりを推進する (消防防災、防犯・交通安全対策)</b>									
	消防団員数	単年 令和元年度	141人	139人	134人	134人	-	-	150人
	自主防災組織数	累計 令和元年度	2団体	2団体	2団体	2団体	-	-	3団体
	詐欺被害の件数	累計 -	-	0件	0件	0件	-	-	0件
	交通死亡事故の発生件数	累計 -	-	1件	2件	2件	-	-	0件

目標 区分	目標指標								
	項目	計算方法等	当初値 (R 2)	実績値					目標値 (R 7)
				R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	
基本目標5 明日を拓く持続可能な仕組みをみんなでつくろう									
1 村民と行政の協働の村づくりを推進する（地域づくり、移住定住、広聴・広報）									
	地域振興施策に満足している村民の割合 (※まちづくりアンケート結果)	単年 令和2年度	62.8%	—	—	—			73.0%
	地域おこし協力隊制度による定住者数	累計 令和元年度	3人	4人	7人	9人			10人
	村政懇談会参加者数	単年 令和元年度	165人	123人	35人 <small>※一部書面開催</small>	140人			165人以上
2 自立した行財政運営を推進する（行財政）									
	財政健全化判断比率の実質公債費比率	単年 令和元年度	10.2%	9.6%	9.4%	9.1%			15%以下
	村税（現年分）収納率	単年 令和元年度	96.9%	98.81%	98.35%	98.77%			99.3%
	職員研修の実施回数	単年 令和元年度	2回	1回	1回	1回			4回
	マイナンバーカード交付率	単年 令和元年度	10.7%	21.4%	31.9%	63.0%			90.0%



第2期普代村まち・ひと・しごと創生総合戦略計画 目標指標の進捗状況

令和5年12月1日

目標区分	目標指標								目標値 (R7)	
	項目	計算方法等	当初値 (R2)	実績値						
				R3	R4	R5	R6	R7		
基本目標1 "にぎわい"を創出する村づくり										
1 水産業の元気をつくる(水産業)										
2 農林業の元気をつくる(農林業)										
3 地域に根ざした産業を守り育てる(商工業、起業促進・雇用対策)										
	人口の社会増減ゼロ	単年 令和元年度	△35人	△28人 (※転入62, 転出70)	△35人 (※転入38, 転出73)	△8人 (※転入54, 転出62)				0人
	人口一人当たり村民所得水準 (※市町村平均=100)	単年 平成29年度	113.1 (※3,129千円)	110.9 (※3,120千円)	102.5 (※2,850千円)	108.7 (※2,896千円)				100.0以上
基本目標2 明日への希望もかなえる"つむぎ"の村づくり										
1 誰もが学べる多様な学習環境を充実する(男女共同参画)										
2 子どもを産み育てやすい環境をつくる(子育て支援、少子化対策)										
3 快適な生活環境を整備する(住環境)										
	合計特殊出生率 (※保健福祉年報(人口動態編))	単年 平成30年	2.27	2.19	1.83	1.92				1.80以上
	女性人口(15-49歳)比率 (※1960=100)	単年 2015年	34	29 (※2010国勢調査値:302A)	29 (※2010国勢調査値:302A)	29 (※2010国勢調査値:302A)				34以上
基本目標3 "やすらぎ"を感じ続けられる村づくり										
1 高齢者の暮らしを支える(高齢者福祉)										
2 障がい者の暮らしを支える(障がい者福祉)										
3 交通体系、情報・通信施策を充実する(公共交通、情報・通信)										
4 安全・安心の村づくりを推進する(消防防災、防犯・交通安全対策)										
5 村民と行政の協働の村づくりを推進する(地域づくり)										
	村に住み続けたい人の割合の上昇 (※まちづくりアンケート結果)	単年 令和2年度	61.8%	-	-	-				61.8%を上回る
	村を転出したい人の割合の低下 (※まちづくりアンケート結果)	単年 令和2年度	12.7%	-	-	-				12.7%を下回る
基本目標4 "つながり"が大きく広がる村づくり										
1 誰もが学べる多様な学習環境を充実する(社会教育・体育、歴史・芸術文化)										
2 "青の国"を生かした観光の振興を図る(観光)										
3 村民と行政の協働の村づくりを推進する(移住定住、広聴・広報)										
	村への愛着度が高い人の割合の上昇(村内居住者) (※まちづくりアンケート結果)	単年 令和2年度	80.2%	-	-	-				80.2%を上回る
	村への愛着度が高い人の割合の上昇(村外居住者) (※まちづくりアンケート結果)	単年 令和2年度	89.8%	-	-	-				89.8%を上回る
	村への愛着度が低い人の割合の低下(村内居住者) (※まちづくりアンケート結果)	単年 令和2年度	17.9%	-	-	-				17.9%を下回る
	村への愛着度が低い人の割合の低下(村外居住者) (※まちづくりアンケート結果)	単年 令和2年度	7.7%	-	-	-				7.7%を下回る



第5次普代村総合発展計画及び第2期普代村まち・ひと・しごと創生総合戦略事業実施計画 総括表 (令和5年12月1日)

1 事業実施計画 (令和3年度～令和7年度)

(単位:千円)

総合計画区分	総戦区分	過疎区分	辺地区分	個別補助対応番号	所管課名	事業名	事業主体	事業費 上段:計画額 下段:実績額	年度区分					備考
									R3 (決算額)	R4 (決算額)	R5 (9月概算予算)	R6	R7	
基本目標1 学ぶ喜びを村づくりにつなげよう								2,681,748	35,998	212,778	121,300	2,266,872	44,800	
								200,657	29,956	51,099	119,602	0	0	
1. 健康な体・豊かな心を育む就学前教育を充実する(就学前教育)								0	0	0	0	0	0	
								0	0	0	0	0	0	
								0						
2. 未来を担う子どもたちの学びの環境を充実する(学校教育)								2,482,058	23,568	189,438	38,280	2,199,472	31,300	
								153,403	20,895	37,765	94,743	0	0	
-	8(4)	-	7-1	教育委員会	学官連携推進事業(小学校交流事業)	普代村	9,951	1,951	2,000	2,000	2,000	2,000		
								0	0	0	0			
-	8(4)	-	7-2	教育委員会	育英奨学資金貸付金事業	普代村	5,080	1,080	1,000	1,000	1,000	1,000		
								1,440	360	360	720			
-	8(4)	-	7-3	教育委員会	普代村学習塾	普代村	7,510	1,510	1,500	1,500	1,500	1,500		
								4,420	1,505	1,392	1,523			
-	8(1)	-	7-4	教育委員会	GIGAスクール構想関連事業(小学校)	普代村	44,968	7,468	8,500	8,500	8,500	12,000		
								22,629	7,467	7,467	7,695			
-	8(1)	-	7-5	教育委員会	GIGAスクール構想関連事業(中学校)	普代村	24,359	3,859	4,500	4,500	4,500	7,000		
								11,689	3,858	3,571	4,260			
-	8(1)	-		教育委員会	公立学校情報機器整備事業(中学校)	普代村	0							
								8,976		8,976				
-	8(1)	-	7-13	教育委員会	義務教育学校整備事業 (※名称変更:小中一貫校整備事業)	普代村	2,316,310		142,138		2,174,172			
								62,531		0	62,531			
-	4(6)	堀内	7-15	教育委員会	スクールバス購入事業	普代村	22,000		22,000					
								20,025		9,092	10,933			
-	8(4)	-	7-12	教育委員会	学校給食費無料化事業	普代村	38,900	7,700	7,800	7,800	7,800	7,800		
								21,693	7,705	6,907	7,081			
-	8(1)	堀内	7-16	教育委員会	学校給食センター外構整備事業	普代村	12,980			12,980				
								0			0			
3. 誰もが学べる多様な学習環境を充実する(社会教育・体育・歴史・芸術文化、男女共同参画)								199,690	12,430	23,340	83,020	67,400	13,500	
								47,254	9,061	13,334	24,859	0	0	
4	8(4)	-	7-6	教育委員会	放課後子ども教室運営事業	普代村	18,344	3,944	3,600	3,600	3,600	3,600		
								12,025	3,900	3,798	4,327			
4	8(4)	-	7-7	教育委員会	学校と地域の協働推進事業	普代村	13,864	1,864	3,000	3,000	3,000	3,000		
								4,662	1,151	1,498	2,013			
4	8(4)	-	7-8	教育委員会	家庭教育支援事業	普代村	1,490	290	300	300	300	300		
								598	30	30	538			
4	10(2)	-	7-9	教育委員会	芸術文化事業・鶴島神楽保存会伝承活動補助金事業・七頭舞育成会活動補助金事業	普代村	8,497	1,697	1,700	1,700	1,700	1,700		
								4,924	611	819	3,494			
4	10(3)	-	7-10	教育委員会	普代村文化祭実行委員会補助金	普代村	2,934	534	600	600	600	600		
								1,277	304	439	534			
4	8(4)	-	7-11	教育委員会	スポーツ教室開催事業	普代村	21,301	4,101	4,300	4,300	4,300	4,300		
								10,403	3,065	3,125	4,213			
4	8(3)	-	7-14	教育委員会	体育施設整備事業	普代村	133,260		9,840	69,520	53,900			
								13,365		3,625	9,740			
基本目標2 未来を拓く活力ある産業を育てよう								1,677,823	227,553	201,487	1,094,550	82,315	71,918	
								1,260,555	217,669	345,080	697,806	0	0	
1. 水産業の元氣をつくる(水産業)								1,408,873	137,780	155,310	1,043,050	40,550	32,183	
								848,401	100,743	163,427	584,231	0	0	
1	2(2)	-	5-4	建設水産課	水産物流通基盤整備事業地元負担金(太田名部)	岩手県	37,000	4,500	10,000	14,000	8,500			
								27,229	3,400	429	23,400			
1	2(2)	-	5-5	建設水産課	水産物供給基盤機能保全事業地元負担金(太田名部)	岩手県	8,260	5,500	2,760					
								11,761	3,698	2,663	5,400			
1	2(2)	-		建設水産課	水産物供給基盤機能保全事業地元負担金(堀内)	岩手県	0							
								929		429	500			
1	2(2)	-	5-6	建設水産課	漁港施設機能強化事業地元負担金	岩手県	11,600	11,600						
								4,447	4,447					



1 事業実施計画（令和3年度～令和7年度）

（単位：千円）

総合計画 区分	総戦 区分	過疎 区分	辺地 区分	個別明確 対応番号	所管課名	事業名	事業 主体	事業費 上段：計画額 下段：実績額	年度区分					備考
									R3 (決算額)	R4 (決算額)	R5 (9月現在予算額)	R6	R7	
	1	2(2)	-	5-30	建設水産課	漁港施設機能保全事業地元負担金	岩手県	15,133 0			3,000 0	6,000	6,133	
	1	2(2)	-		建設水産課	漁港機能増進事業地元負担金	岩手県	0 0		0				
	1	2(2)	-	5-9	建設水産課	漁港漁村再生交付金事業	普代村	161,000 176,485	80,000 47,080	81,000 101,805	27,600			
	1	2(2)	-	5-10	建設水産課	漁港施設機能増進事業	普代村	23,000 24,692	23,000 24,692					
	1	2(2)	-	5-26	建設水産課	村営漁港機能保全事業	普代村	35,000 0		5,000 0	10,000 0	10,000	10,000	
	1	2(10)	-	5-2	建設水産課	普代村新規漁業者育成協議会補助金事業	協議会	14,630 12,345	2,630 5,560	3,000 3,995	3,000 2,790	3,000	3,000	
	1	2(10)	-	5-3	建設水産課	普代海づくり少年団育成会補助金	協議会	250 150	50 50	50 50	50 50	50	50	
	1	2(10)	-	5-7	建設水産課	水産業活性化補助金事業	普代漁協	50,000 28,000	10,000 10,000	10,000 9,000	10,000 9,000	10,000	10,000	
	1	2(10)	-		建設水産課	地域基幹産業人材確保支援事業費補助金 事業	普代村	0 1,316						
	1	2(10)	-		建設水産課	地域経営推進費補助金事業	普代村	0 389			0 389			
	1	2(10)	-	5-8	建設水産課	昆布加工効率化実証事業	普代村	500 500	500 500					
	1	2(11)	-	5-25	建設水産課	海フェスタINふだい実行委員会補助金	実行委員会	12,000 0		3,000 0	3,000 0	3,000	3,000	
	1	2(4)	-	5-27	建設水産課	新魚市場整備事業	普代村	1,040,500 550,658		40,500 45,056	1,000,000 505,602			
	1	2(11)	-		建設水産課	漁村整備事業	普代村	0 6,500				6,500		
	1	2(11)	-		建設水産課	白井地区漁業研修施設修繕工事	普代村	0 3,000				3,000		
2. 農林業の元気をつくる（農林業）								133,673 118,568	40,096 44,154	24,777 38,681	30,100 35,733	20,365 0	18,335 0	
	1	2(1)	-	5-24	建設水産課	基幹水利施設ストックマネジメント事業	岩手県	15,100 0		2,100 0	10,000 0	1,500	1,500	
	1	2(11)	-	6-1	農林高工課	中山間地域等直接支払交付金	協定集落	4,943 2,850	1,495 950	862 950	862 950	862	862	
	1	2(1)	-	6-2	農林高工課	県営普代地区農地開発事業債務負担金	普代村	31,695 25,730	12,690 12,690	7,809 7,808	5,232 5,232	3,997	1,967	
	1	2(1)	-	6-3	農林高工課	下閉伊北区域農用地総合地整備事業債務 負担金	普代村	38,035 22,821	7,607 7,607	7,607 7,607	7,607 7,607	7,607	7,607	
	1	2(11)	-	6-4	農林高工課	日本型直接支払交付金	協定集落	995 597	199 199	199 199	199 199	199	199	
	1	2(10)	-	6-5	農林高工課	新規作物栽培チャレンジ支援事業	協定集落	1,000 900	200 100	200 300	200 500	200	200	
	1	2(10)	-	6-6	農林高工課	新規作物栽培拡大支援事業	協定集落	1,000 400	200 200	200 100	200 100	200	200	
	1	2(11)	-	6-7	農林高工課	希望郷いわての農業基盤整備事業	各生産組合	3,000 4,741	3,000 2,937		1,804			
	1	2(11)	-	6-8	農林高工課	いわて地域農業マスタープラン実践支援 事業	各生産組合	5,000 0	1,000 0	1,000 0	1,000 0	1,000	1,000	
	1	2(11)	-		農林高工課	園芸産地確立事業	普代村	0 1,317				532		
	1	2(10)	-	6-9	農林高工課	普代村ナラ枯れ対策事業	普代村	6,000 27,821	6,000 11,252					

1 事業実施計画（令和3年度～令和7年度）

（単位：千円）

総合計画 区分	総戦 区分	過疎 区分	辺地 区分	個別補助 対応番号	所管課名	事業名	事業 主体	事業費 上段：計画額 下段：実績額	年度区分					備考
									R3 (決算額)	R4 (決算額)	R5 (9月概算予算額)	R6	R7	
	1	2 (10)	-	6-10	農林高工課	原木しいたけ植菌支援事業	普代村	9,008 3,888	1,808 1,250	1,800 965	1,800 1,673	1,800	1,800	
	1	2 (11)	-	6-11	農林高工課	森林環境整備事業	普代村	17,897 27,430	5,897 6,714	3,000 10,627	3,000 10,089	3,000	3,000	
	1	2 (11)	-		農林高工課	普代村特用林産物普及促進事業	普代村	0 73			73			
3. 地域に根差した産業を守り育てる（商工業、起業促進・雇用対策）								38,833 118,349	11,233 12,119	6,900 72,420	6,900 33,810	6,900 0	6,900 0	
	1	2 (11)	-	6-13	農林高工課	プレミアム付商品券事業	普代村	12,000 15,954	4,000 6,954	2,000 6,000	2,000 3,000	2,000	2,000	
	1	2 (11)	-	6-14	農林高工課	普代村高工業振興補助金	普代村	19,000 11,400	3,800 3,800	3,800 3,800	3,800 3,800	3,800	3,800	
	1	2 (10)	-	6-15	農林高工課	青の国ふだい・海の幸創生開発事業	普代村	1,000 3,000	1,000 1,000		1,000 1,000			
	1	2 (11)	-	6-16	農林高工課	普代村小規模企業経営改善資金利子補給補助金	普代村	473 184	73 5	100 43	100 136	100	100	
	1	2 (10)	-	6-12	農林高工課	普代村新卒者等雇用奨励助成金事業	普代村	360 540	360 360		180			
	1	2 (10)	-	6-17	農林高工課	普代村起業支援事業補助金	普代村	6,000 1,000	2,000 0	1,000 0	1,000 1,000	1,000	1,000	
	1	2 (10)	-		政策推進室	物価高騰対策地域商品券給付事業	普代村	0 86,271		61,577	24,694			
4. “青の国”を生かした観光の振興を回る（観光）								96,444 175,237	38,444 60,653	14,500 70,552	14,500 44,032	14,500 0	14,500 0	
	4	2 (11)	-	6-18	観光振興室	北緯40度普代まるごと観光物産事業	普代村	9,957 3,525	1,957 553	2,000 1,046	2,000 1,926	2,000	2,000	
	4	2 (11)	-	6-19	観光振興室	ふだいまつり開催事業	実行委員会	16,000 8,000	3,200 0	3,200 4,000	3,200 4,000	3,200	3,200	
	4	2 (11)	-	6-20	観光振興室	三陸ジオパーク発信事業	普代村	1,000 323	200 48	200 75	200 200	200	200	
	4	2 (11)	-	6-21	観光振興室	観光特産品インフォメーション事業	普代村	7,452 10,861	1,452 2,816	1,500 2,165	1,500 5,880	1,500	1,500	
	4	2 (10)	-	6-22	観光振興室	観光力強化促進事業	青の国ふだい	10,000 6,200	2,000 2,200	2,000 2,000	2,000 2,000	2,000	2,000	
	4	2 (10)	-	6-23	観光振興室	インバウンド教育旅行受入体制構築事業	普代村	10,555 0	555 0	2,500 0	2,500 0	2,500	2,500	
	4	2 (8)	黒崎	6-24	観光振興室	国立公園利用拠点整備支援事業	普代村	26,580 67,009	22,580 22,439	1,000 20,370	1,000 24,200	1,000	1,000	
	4	2 (10)	-	6-25	観光振興室	恋する灯台プロジェクト推進事業	普代村	4,400 4,785	4,400 4,620	0	165			
	4	2 (11)	-	6-26	観光振興室	ふだいイベント開催事業	実行委員会	10,500 5,900	2,100 2,300	2,100 1,700	2,100 1,900	2,100	2,100	
	4	2 (11)	-		観光振興室	地域で宿泊体験・レビュー事業	普代村	0 34,248		9,440	24,808			
	4	2 (8)	-		政策推進室	国立公園上質化に併せた観光資源利用促進事業	普代村	0 6,063		6,063				
	4	2 (11)	-		観光振興室	国立公園滞在型ツアー推進事業	普代村	0 7,931		7,931				
	4	2 (11)	-		観光振興室	国立公園でのワーケーション推進事業	普代村	0 2,243		2,243				
	4	2 (8)	-		観光振興室	黒崎キャンプ場施設整備事業	普代村	0 6,985		6,985				
	4	2 (8)	-		観光振興室	休養施設事業会計繰出金（宿泊施設環境整備事業）	普代村	0 11,164		7,403	3,761			
基本目標3 健やかに、そして安心して暮らせる環境をつくろう								509,331 347,258	90,581 93,159	94,600 131,578	95,150 122,521	94,350 0	134,650 0	



1 事業実施計画（令和3年度～令和7年度）

（単位：千円）

総合計画 区分	総戦 区分	過疎 区分	辺地 区分	種別明細 対応番号	所管課名	事業名	事業 主体	事業費 上段：計画額 下段：実績額	年度区分					備考
									R3 (決算額)	R4 (決算額)	R5 (9月現在予算額)	R6	R7	
1. 心身の健やかな暮らしを支える（保健・医療）								81,658	8,058	8,400	8,400	8,400	48,400	
								24,183	6,792	10,109	7,282	0	0	
-	7(3)	-	4-28	住民福祉課	遠隔健康相談事業	普代村	4,528	528	1,000	1,000	1,000	1,000		
								906	528	378	0			
-	7(3)	-	4-29	住民福祉課	インフルエンザ予防接種事業	普代村	35,230	7,230	7,000	7,000	7,000	7,000		
								18,210	6,084	5,736	6,390			
-	7(3)	-	4-30	住民福祉課	人間ドック受診助成事業	普代村	1,900	300	400	400	400	400		
								650	180	170	300			
-	7(1)	-	8-1	医科診療所	診療施設空調等設備更新事業	普代村	40,000					40,000		
								0						
-	7(1)	-		歯科診療所	診療施設医療機器整備事業	普代村	0							
								3,825		3,825				
-	7(1)	-		住民福祉課	带状疱疹予防接種費用助成事業	普代村	0							
								592			592			
2. 高齢者の暮らしを支える（高齢者福祉）								271,931	53,781	54,600	54,850	54,350	54,350	
								193,354	58,587	63,489	71,278	0	0	
3	6(9)	-	4-7	住民福祉課	高齢者及び障害者にやさしい住まいづくり事業	普代村	2,000	400	400	400	400	400		
								1,951	752	799	400			
3	6(9)	-	4-12	住民福祉課	老人クラブ連合会活動促進事業	普代村	5,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000		
								2,229	619	610	1,000			
3	6(8)	-	4-13	住民福祉課	敬老会事業 （※敬老の日お祝い商品券等事業）	普代村	11,751	2,551	2,300	2,300	2,300	2,300		
								7,934	2,664	2,200	3,070			
3	6(9)	-	4-14	住民福祉課	生きがい活動支援通所委託事業	普代村	15,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000		
								9,000	3,000	3,000	3,000			
3	6(9)	-	4-15	住民福祉課	生活支援ハウス運営委託事業	普代村	40,000	8,000	8,000	8,000	8,000	8,000		
								24,000	8,000	8,000	8,000			
3	6(9)	-	4-16	住民福祉課	シルバー人材センター運営費補助金事業	普代村	12,505	2,505	2,500	2,500	2,500	2,500		
								7,765	2,505	2,716	2,544			
3	6(9)	-	4-17	住民福祉課	くろさき小規模多機能ホーム運営費補助金事業	普代村	17,500	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500		
								10,500	3,500	3,500	3,500			
3	6(3)	-	4-18	住民福祉課	生活支援ハウス整備費補助金事業	普代村	1,500	500	500	500				
								1,500	500	500	500			
3	6(8)	-	4-19	住民福祉課	地域サロン活動支援補助金事業	普代村	2,600	250	400	650	650	650		
								696	141	254	301			
3	6(9)	-	4-20	住民福祉課	地域包括支援センター運営事業（高齢者等生活支援事業）	普代村	164,075	32,075	33,000	33,000	33,000	33,000		
								110,323	31,109	35,382	43,832			
3	6(9)	-		住民福祉課	緊急通報体制整備事業	普代村	0							
								721	131	211	379			
3	6(9)	-		住民福祉課	高齢者移動支援事業	普代村	0							
								2,446	278	704	1,464			
3	6(9)	-		住民福祉課	高齢者生活支援事業	普代村	0							
								576		288	288			
3	6(9)	-		住民福祉課	くろさき小規模多機能ホーム利用料補足給付費事業	普代村	0							
								9,278	3,368	2,910	3,000			
3	6(9)	-		住民福祉課	新型コロナウイルス感染症対応生活困窮者冬季特別対策事業	普代村	0							
								4,435	2,020	2,415				
3. 障がい者の暮らしを支える（障がい者福祉）								1,982	382	400	400	400	400	
								328	74	107	147	0	0	
3	6(8)	-	4-11	住民福祉課	福祉タクシー助成券給付事業	普代村	1,982	382	400	400	400	400		
								328	74	107	147			
4. 子どもを産み育てやすい環境をつくる（子育て支援、少子化対策）								68,539	10,939	14,400	14,400	14,400	14,400	
								45,500	9,356	20,925	15,219	0	0	
2	6(8)	-	4-21	住民福祉課	普代村育児祝金事業	普代村	15,350	2,150	3,300	3,300	3,300	3,300		
								6,050	1,650	1,400	3,000			
2	6(8)	-	4-22	住民福祉課	子ども・妊産婦・ひとり親家庭・寡婦等医療費助成事業	普代村	47,895	7,895	10,000	10,000	10,000	10,000		
								23,390	7,343	7,500	8,547			



1 事業実施計画（令和3年度～令和7年度）

（単位：千円）

総合計画 区分	総戦 区分	過疎 区分	辺地 区分	個別詳細 対応番号	所管課名	事業名	事業 主体	事業費 上段：計画額 下段：実績額	年度区分					備考
									R3 (決算額)	R4 (決算額)	R5 (9月概計予算額)	R6	R7	
	2	6(8)	-		住民福祉課	いわて子育て世帯臨時特別支援金給付事業	普代村	0 13,871		11,857	2,014			
	2	6(8)	-	4-23	住民福祉課	特定不妊治療費助成事業	普代村	1,500 345	300 150	300 45	300 150	300	300	
	2	6(8)	-	4-24	住民福祉課	妊婦健診交通費助成事業	普代村	2,794 730	394 213	600 123	600 394	600	600	
	2	6(8)	-	4-25	住民福祉課	不妊検査支援事業	普代村	500 100	100 0	100 0	100 100	100	100	
	2	6(8)	-	4-26	住民福祉課	男性不妊治療費助成事業	普代村	500 0	100 0	100 0	100 0	100	100	
	2	6(8)	-		住民福祉課	出産・子育て応援交付金事業	普代村	0 1,014			1,014			
5. みんなで支え合い、助け合う福祉の村をつくる（地域福祉）								85,221 83,893	17,421 18,350	16,800 36,948	17,100 28,595	16,800 0	17,100 0	
	-	6(9)	-	4-8	住民福祉課	普代村社会福祉協議会運営費補助金事業	普代村	52,612 26,214	11,812 11,578	10,200 7,088	10,200 7,548	10,200	10,200	
	-	6(9)	-	4-9	住民福祉課	普代村福祉基金事業	普代村	15,336 12,456	3,336 3,336	3,000 3,646	3,000 5,474	3,000	3,000	
	-	6(9)	-	4-10	住民福祉課	久慈地域成年後見センター事業	普代村	3,153 1,725	753 396	600 546	600 783	600	600	
	-	6(8)	-	4-27	住民福祉課	看護・介護・保育職養成奨学金貸付金事業	普代村	14,120 7,640	1,520 3,040	3,000 2,810	3,300 1,790	3,000	3,300	
	-	6(9)	-		住民福祉課	健康スマイレージアプリ化事業	普代村	0 1,430		1,430				
	-	6(9)	-		住民福祉課	住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金事業	普代村	0 20,168		20,168				
	-	6(9)	-		住民福祉課	社会福祉施設等に対する物価高騰対策支援事業	普代村	0 1,260		1,260				
	-	6(9)	-		住民福祉課	電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援事業	普代村	0 13,000			13,000			
基本目標4 自然と共生する安全で快適な環境をつくらう								1,359,805 1,009,900	299,741 253,608	437,867 466,099	254,471 290,193	180,863 0	186,863 0	
1. 自然と共生する（自然環境、環境衛生）								32,170 18,651	2,970 2,926	23,050 2,724	2,050 13,001	2,050 0	2,050 0	
	-	11(2)	-	2-1	政策推進室	太陽光発電システム等導入促進助成事業	普代村	3,750 1,700	750 100	750 100	750 1,500	750	750	
	-	11(3)	-	5-1	建設水産課	普代ダム小水力発電事業	普代村	7,420 6,464	2,220 2,826	1,300 2,359	1,300 1,279	1,300	1,300	
	-	11(3)	-	4-32	住民福祉課	脱炭素社会の実現に向けた検討事業（地球温暖化対策実行計画策定事業等）	普代村	5,000 10,487		5,000 265	10,222			
	-	11(3)	-		建設水産課	電気自動車用充電スタンド整備事業	普代村	0 0		0				
	-	5(3)	-	4-31	住民福祉課	久慈地区汚泥再生センター整備事業	久慈広域連合	16,000 0		16,000 0				
2. 快適な生活環境を整備する（住環境、道路、簡易水道、污水处理）								826,742 457,178	181,550 141,430	183,998 165,611	172,998 150,137	153,098 0	135,098 0	
	2	5(7)	-	2-11	政策推進室	ふるさと定住促進助成事業	普代村	9,192 3,531	1,192 1,027	2,000 1,444	2,000 1,060	2,000	2,000	
	2	5(7)	-	5-16	建設水産課	住宅リフォーム促進事業助成	普代村	5,000 5,600	1,000 2,100	1,000 1,900	1,000 1,600	1,000	1,000	
	2	5(7)	-	5-17	建設水産課	ブロック塀撤去助成事業	普代村	2,300 100	300 0	500 0	500 100	500	500	
	2	5(7)	-		建設水産課	住宅建築物耐震改修等事業費補助金	普代村	0 1,000		0	1,000			
	2	5(6)	-	5-18	建設水産課	村営住宅立替事業	普代村	23,000 19,344	11,500 9,664	11,500 9,680				

1 事業実施計画（令和3年度～令和7年度）

（単位：千円）

総合計画 区分	総戦 区分	過疎 区分	辺地 区分	個別明確 対応番号	所管課名	事業名	事業 主体	事業費 上段：計画額 下段：実績額	年度区分					備考
									R3 (決算額)	R4 (決算額)	R5 (9月期計画額)	R6	R7	
	2	5(6)	-	5-19	建設水産課	村営住宅改善事業	普代村	9,300 13,391	6,000 5,933	3,300 7,458				
	2	5(6)	-	5-28	建設水産課	村営住宅ストック総合改善事業 (※名称変更：村営住宅長寿命化型改善 事業)	普代村	4,000 15,163		2,000 7,107	2,000 8,056			
	2	5(6)	-	5-29	建設水産課	村営住宅建設事業	普代村	78,000 0		14,000 0	32,000 0	32,000		
	-	4(1)	-	5-11	建設水産課	道路施設防災事業	普代村	132,260 133,426	42,260 37,884	25,000 60,902	25,000 34,640	20,000	20,000	
	-	4(1)	-	5-12	建設水産課	橋梁長寿命化修繕事業	普代村	165,000 91,489	45,000 59,133	30,000 4,356	30,000 28,000	30,000	30,000	
	-	4(1)	-		建設水産課	橋梁長寿命化修繕計画策定事業	普代村	0 4,939		4,939				
	-	4(1)	黒崎 堀内 鳥茂渡	5-13	建設水産課	道路新設改良事業	普代村	220,900 84,574	33,900 11,243	51,000 45,631	40,000 27,700	41,000	55,000	
	-	4(1)	-	5-21	建設水産課	普代橋梁添架布設替え事業	普代村	5,700 5,686	5,700 5,686					
	-	5(1)	-	5-22	建設水産課	簡易水道施設改良事業	普代村	91,000 8,587	11,000 4,110	20,000 0	20,000 4,477	20,000	20,000	
	-	5(8)	-	5-20	建設水産課	公営企業会計（簡水）移行支援等業務委 託事業	普代村	34,000 38,621	12,700 0	12,700 14,300	7,500 24,321	550	550	
	-	5(2)	-	5-15	建設水産課	浄化槽設置整備事業費補助金事業	普代村	27,490 12,840	5,498 4,650	5,498 2,394	5,498 5,796	5,498	5,498	
	-	5(8)	-	5-23	建設水産課	公営企業会計（漁集）移行支援等業務委 託事業	普代村	19,600 18,887	5,500 0	5,500 5,500	7,500 13,387	550	550	
3. 交通体系、情報・通信施策を充実する（公共交通、情報・通信）								139,602 93,917	26,742 30,977	25,715 33,247	25,715 29,693	25,715 0	35,715 0	
3	4(10)	-	1-4	総務課	三陸鉄道強化促進協議会負担金	普代村	4,540 2,161	908 907	908 658	908 596	908	908	908	
3	4(9)	-	1-5	総務課	三陸鉄道運営費（設備維持分）補助金	普代村	42,676 28,798	8,616 8,615	8,515 9,635	8,515 10,548	8,515	8,515		
3	4(5)	-	1-6	総務課	三陸鉄道設備投資国庫協調補助金	三陸鉄道㈱	25,300 16,843	5,060 5,059	5,060 5,771	5,060 6,013	5,060	5,060		
3	4(10)	-	1-6	総務課	三陸鉄道運行支援交付金	普代村	0 9,819		4,646 5,173					
3	4(9)	-	1-7	総務課	村営バス無料化事業	普代村	46,041 29,215	10,041 9,433	9,000 9,820	9,000 9,962	9,000	9,000		
3	4(6)	-	1-14	総務課	村営バス購入事業	普代村	10,000 0						10,000	
3	3(3)	-	1-1	総務課	行政情報配信システム事業	普代村	3,960 2,376	792 792	792 792	792 792	792	792	792	
3	3(3)	-	1-2	総務課	情報告知端末機器及び新規設置業務委託 料	普代村	7,085 4,705	1,325 1,525	1,440 1,398	1,440 1,782	1,440	1,440	1,440	
4. 安全・安心の村づくりを推進する（消防防災、防犯・交通安全対策）								361,291 440,154	88,479 78,275	205,104 264,517	53,708 97,362	0 0	14,000 0	
3	4(5)	-	1-10	総務課	防災行政無線機能強化事業	普代村	9,728 8,679	4,624 4,620	5,104 4,059					
3	4(5)	-		総務課	防災行政無線屋外スピーカー増設事業	普代村	0 8,800			8,800				
3	4(5)	-		総務課	防災ハザードマップ作成事業	普代村	0 3,850		3,850					
3	4(5)	-		総務課	避難標識等整備事業	普代村	0 1,000			1,000				
3	4(5)	-		総務課	災害後方支援拠点広場整備事業	普代村	0 60,938							
								60,938	13,376	47,562				



1 事業実施計画（令和3年度～令和7年度）

（単位：千円）

総合計画 区分	総戦 区分	過疎 区分	辺地 区分	個別補助 対応番号	所管課名	事業名	事業 主体	事業費 上段：計画額 下段：実績額	年度区分					備考
									R3 (決算額)	R4 (決算額)	R5 (9月概算予算額)	R6	R7	
	3	4(5)	-	1-12	総務課	消防活動用資機材整備事業	久慈広域連合	4,208 0		4,208 0				
	3	4(5)	-	1-13	総務課	消防車両購入事業	普代村	14,000 0					14,000	
	3	4(5)	-	5-14	建設水産課	浸水対策ポンプ整備事業	普代村	333,355 344,740	83,855 73,655	200,000 241,085	49,500 30,000			
	3	4(5)	-		建設水産課	普代の沢砂防排水路整備事業	普代村	0 2,147		2,147				
	3	4(5)	-		建設水産課	河川土砂撤去事業	普代村	0 10,000			10,000			
基本目標5 明日を拓く持続可能な仕組みをみんなでつくる								1,133,429 1,339,777	331,024 403,259	240,475 424,561	190,010 511,957	181,010 0	190,910 0	
1. 村民と行政の協働の村づくりを推進する（地域づくり、移住定住、広聴・広報）								253,169 251,728	110,120 107,066	42,849 48,428	39,400 46,234	30,400 0	30,400 0	
	3	9(2)	-	2-10	政策推進室	ふるさと元気！応援事業	普代村	2,500 1,232	500 264	500 468	500 500	500 500	500 500	
	3	8(3)	-	2-12	政策推進室	地域活動拠点施設整備事業	普代村	73,500 65,319	58,500 59,068	3,000 0	10,000 6,251	1,000 0	1,000 0	
	3	9(2)	-	2-13	政策推進室	結婚応援事業 （※名称変更：結婚応援プロジェクト事業）	普代村	548 871	148 56	100 67	100 748	100 0	100 0	
	3	9(2)	-	2-15	政策推進室	華のまち・普代村創出事業 （※名称変更：華のまち・普代村（河津桜のまちづくり）創出事業）	普代村	5,455 3,974	1,055 1,045	1,100 1,440	1,100 1,489	1,100 0	1,100 0	
	3	9(2)	-	2-19	政策推進室	普代版SDGs地域通貨事業	普代村	12,000 0	8,000 0	1,000 0	1,000 0	1,000 0	1,000 0	
	3	9(3)	-	2-20	政策推進室	コミュニティ助成事業	普代村	10,000 2,400		2,500 2,400	2,500 0	2,500 0	2,500 0	
	3	9(2)	-		政策推進室	SDGs推進業務委託事業 （※名称変更：SDGs推進プロジェクト業務委託事業）	普代村	0 900			400 300			
	4	1(4)	-	2-14	政策推進室	青の国魅力情報発信事業	普代村	4,884 14,915	4,884 4,884		5,012 5,019			
	4	1(4)	-	2-2	政策推進室	ふるさと普代会事業	普代村	1,951 613	351 56	400 205	400 352	400 0	400 0	
	4	1(4)	-	2-6	政策推進室	ふだいFAN拡大促進事業	普代村	2,349 245	349 245	500 0	500 0	500 0	500 0	
	4	1(4)	-	2-7	政策推進室	学官連携推進事業	普代村	5,993 1,903	1,193 233	1,200 637	1,200 1,033	1,200 0	1,200 0	
	4	1(5)	-	2-8	政策推進室	地域おこし協力隊受入事業	普代村	93,457 97,228	23,057 18,717	17,600 25,452	17,600 53,059	17,600 0	17,600 0	
	4	1(5)	-		観光振興室	地域おこし協力隊受入事業	普代村	0 4,648				4,648		
	4	1(5)	-		教育委員会	地域おこし協力隊受入事業	普代村	0 3,019				3,019		
	4	1(5)	-		政策推進室	地域活性化企業人受入事業	普代村	0 5,600				5,600		
	4	1(5)	-	2-16	政策推進室	普代村移住支援事業 （※名称変更：地方創生推進交付金移住就業支援事業）	普代村	5,000 2,000	1,000 0	1,000 0	1,000 2,000	1,000 0	1,000 0	
	4	1(4)	-	2-17	政策推進室	多様なワークスタイルの実現による移住者誘致と持続可能な普代村の創出事業	普代村	18,951 30,153	8,502 8,499	10,449 12,223		9,431		
	4	1(5)	-	2-18	政策推進室	移住定住促進事業 （※名称変更：移住コーディネーター設置事業）	普代村	16,581 7,219	2,581 2,307	3,500 2,524	3,500 2,388	3,500 0	3,500 0	
	4	1(5)	-		政策推進室	昆布ブラザーズ着ぐるみ製作事業	普代村	0 2,161		2,161				
	4	1(5)	-		政策推進室	地方創生テレワーク推進事業	普代村	0 6,436						

1 事業実施計画（令和3年度～令和7年度）

（単位：千円）

総合計画 区分	総戦 区分	過疎 区分	辺地 区分	個別補助 対応番号	所管課名	事業名	事業 主体	事業費 上段：計画額 下段：実績額	年度区分					備考		
									R3 (決算額)	R4 (決算額)	R5 (9月概計予算額)	R6	R7			
	4	1(5)	-		政策推進室	「和村邸」の活用に伴う基本設計業務委託事業	普代村	0 495	495							
	4	1(5)	-		政策推進室	被災地訪問活動受入事業	普代村	0 397			397					
2. 自立した行財政運営を推進する（行財政）								880,260 1,088,049	220,904 296,193	197,626 376,133	150,610 415,723	150,610 0	160,510 0			
-	12	-	1-3	総務課	公共施設長寿命化対策事業	普代村	20,000 25,872	4,000 25,322	4,000 550	4,000 0	4,000	4,000				
-	12	-	1-11	総務課	旧まついそ解体工事	普代村	35,000 0		35,000 0							
-	12	-		総務課	旧芦渡へき地保育所解体工事	普代村	0 9,120			9,120						
-	12	-	1-8	総務課	庁内用パソコン端末等整備事業	普代村	34,700 22,822	6,940 6,940	6,940 6,939	6,940 8,943	6,940	6,940				
-	12	-	2-9	政策推進室	ふるさと納税を活用した地域産業促進事業	普代村	384,137 792,012	84,137 171,878	75,000 292,698	75,000 327,436	75,000	75,000				
-	12	-	2-3	政策推進室	地域づくりアドバイザー等連携事業	普代村	11,379 3,660	3,879 1,906	4,500 763	1,000 991	1,000	1,000				
-	12	-	2-21	政策推進室	次期総合発展計画等策定支援業務	普代村	6,600 0					6,600				
-	12	-	2-22	政策推進室	次期国土強靱化地域計画策定支援業務	普代村	3,300 0					3,300				
-	12	-	1-9	総務課	自治体クラウドシステム運用事業（基幹系・内部情報系、GIS、公金決済）	普代村	203,000 134,523	43,000 41,396	40,000 41,831	40,000 51,296	40,000	40,000				
-	12	-		総務課	AI・RPAシステム	普代村	0 1,980			1,980						
-	12	-	3-1	税務出納課	申告支援システム	普代村	9,276 5,566	1,856 1,855	1,855 1,855	1,855 1,856	1,855	1,855				
-	12	-	3-2	税務出納課	土地情報管理システム	普代村	4,940 2,295	940 724	1,000 631	1,000 940	1,000	1,000				
-	12	-	3-3	税務出納課	コンビニ収納システム	普代村	4,927 14,130	2,467 0	615 14,130	615 0	615	615				
-	12	-	4-1	住民福祉課	戸籍総合システム	普代村	7,077 7,048	7,077 7,048								
-	12	-	4-2	住民福祉課	戸籍総合システム（クラウド化）	普代村	49,500 35,578	17,500 22,047	8,000 6,739	8,000 6,792	8,000	8,000				
-	12	-	4-3	住民福祉課	住民基本台帳ネットワークシステム	普代村	14,455 8,906	2,855 2,854	2,900 2,854	2,900 3,198	2,900	2,900				
-	12	-	4-4	住民福祉課	諸証明等コンビニ交付システム導入及び運用事業	普代村	62,500 4,386	28,500 0	8,500 2,338	8,500 2,048	8,500	8,500				
-	12	-	4-5	住民福祉課	障害福祉サービス管理システム	普代村	2,900 2,970	900 990	500 990	500 990	500	500				
-	12	-	2-4	政策推進室	北岩手循環共生圏連携事業	普代村	1,495 133	295 0	300 0	300 133	300	300				
-	12	-	2-5	政策推進室	久慈広域道の駅整備負担金	普代村	10,505 5,023	1,989 1,208	8,516 3,815							
-	12	-	4-6	住民福祉課	岩手県沿岸知的障害児施設整備事業	社会福祉法人	14,569 12,025	14,569 12,025								
合 計							事業費 7,362,136	事業数 583	事業費 4,158,147	事業数 391	984,897 123	1,187,207 124	1,755,481 115	2,805,410 110	629,141 111	
							事業費 4,158,147	事業数 391	事業費 997,651	事業数 124	1,418,417 130	1,742,079 137	0	0		

※青書き部分は、当初計画から追加・修正等になった事業となります。



**資料 No.2**

**普代村まち・ひと・しごと創生総合戦略事業評価シート**

**令和5年度版(令和4年度実績)**

**【R2地方創生推進交付金・第57回地域再生計画】**

No.	事業名	担当課名
①	多様なワークスタイルの実現による移住者誘致と持続可能な普代村の創出事業	政策推進室

## 1. 取り組みの概要 (Plan)

事業名	① 多様なワークスタイルの実現による移住者誘致と持続可能な普代村の創出事業 (R2地方創生推進交付金・第57回地域再生計画)					担当課名	政策推進室				
基本目標	基本目標4 地域への新しい人の流れをつくる										
施策	施策1 地域への移住者受入体制の推進										
目的	地域資源を生かした仕事や暮らしの創出による移住者の誘致と、子育て支援をはじめとする定着のための支援を総合的に展開し、都市部から村への人の流れを確かなものとし、持続可能な普代村の実現を目指すことを目的とします。										
概要	村内に地域資源を生かした「仕事」や「仕事の場所」を創出し、人と企業・企業人の誘致を図っていきます。また、誘致した人材等が村内に定着するための伴走支援を行うとともに、こうした取組全体を映像・WEBにより全国に発信し、特に過疎地域の地域づくり、ソーシャルな仕事、新たな働き方を志向する都市部の若年層や先進的な企業に訴求するものです。										
事業費(千円)	R2予算額	R3予算額	R4予算額	R5予算額	R6予算額	R2決算額	R3決算額	R4決算額	R5決算額	R6決算額	
	6,413	8,500	12,234			6,413	8,499	12,233			
KPI (重要業績評価指標)	指標内容			R1現状値	R2目標値	R3目標値	R4目標値	R5目標値	R6目標値	最終目標	
					R2実績値	R3実績値	R4実績値	R5実績値	R6実績値	最終実績	
	普代村の地域課題解決に資する仕事モデル数(モデル数)			0	2	4	4	3	3	16	
	仕事モデルに従事する移住者数(人)			0	4	3	4			11	
				0	4	7	4	4	19		
				2	5	3			10		

## 2. 取り組みの状況 (Do)

事業の実施状況	令和4年度は委託先である株式会社アースカラーと移住者誘致と仕事づくりの分野において連携し、「水産業振興人材」、「空き家利活用人材」、「DX推進人材」、「萩牛集落支援&鉄山染め人材」の4つの仕事モデルの企画・制作を行いました。また、「森のようちえん人材」、「サードプレイス人材」、「林業プロジェクト人材」の3名の移住者誘致のほか、移住者の伴走支援、コワーキングオフィス(BLEU BASE FUDAI)の振興、留村プログラムの運営、移住定住支援特設WEBサイトの構築を行いました。			
主な事務の内容	事務	詳細内容	R4予算額	R4決算額
	多様なワークスタイルの実現による移住者誘致と持続可能な普代村の創出事業業務委託 委託期間：R4.5.11～R5.3.24 委託先：㈱アースカラー	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇しごとモデル構築及び募集・採用業務 <ul style="list-style-type: none"> <li>・モデル企画・制作(4本)</li> </ul> </li> <li>◇仕事モデル深掘り伴走支援業務 <ul style="list-style-type: none"> <li>・実践者伴走支援(5名)</li> </ul> </li> <li>◇コワーキングオフィスBBF振興業務 <ul style="list-style-type: none"> <li>・研修会の開催(1回)</li> <li>・留村プログラムの運営(6回)</li> <li>・コワーキングオフィス管理・改善企画運営(通年)</li> </ul> </li> <li>◇WEBサイト構築業務 <ul style="list-style-type: none"> <li>・普代村移住定住支援特設サイト</li> </ul> </li> </ul>	12,234,000	12,233,420

### 3. 取り組みの検証／内部評価 (Check1)

<p>KPI (重要業績評価指標)の達成 状況に関する分析</p>	<p>・設定した2つのKPIの令和4年度末における進捗状況は次のとおりです。          ①普代村の地域課題解決に資する仕事モデル数 ⇒ 進捗率110.0% (11/10モデル)          ②仕事モデルに従事する移住者数 ⇒ 進捗率90.9% (10/11人)          ・令和4年度は「普代村の地域課題解決に資する仕事モデル数」として累計で11の仕事モデルを企画・制作(青の国ふだいサービスデザイナー、和村邸人材、森のようちえん人材、くろさき荘魅力化人材、農業プロジェクト人材、林業プロジェクト人材、サードプレイス人材、水産業振興人材、空き家利活用人材、DX推進人材、萩牛集落支援&amp;鉄山染め人材)し、累計で10名の仕事モデルに従事する移住者が誘致され目標指標は概ね順調に推移している状況です。毎年実施する「留村プログラム」の参加者から移住へつながるケースが多いことから、今後も継続して実施していくことで移住者数の目標値達成に取り組めます。</p>		
<p>取り組みの課題</p>	<p>・プロジェクト内容・成果の情報発信と住民理解の醸成</p>		
<p>内部評価結果</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(計画通り)</p>	<p><input type="checkbox"/> 要改善</p>	<p><input type="checkbox"/> 抜本的な見直し</p>
<p>今後の取り組み</p>	<p>・引き続き、広報やSNS、住民に対する活動報告会の開催などの情報発信をはじめ、移住者の方々には積極的な地域活動への参画を促しながら、移住者誘致の取り組みの浸透を図っていきます。          ※広報による毎月の地域おこし協力隊コーナーへの掲載、毎月の地域おこし協力隊通信の発行、活動報告会の開催による継続した情報発信。また、委託事業者との定期ミーティング、伴走支援業務のほか、行政と隊員との定期面談を通じた隊員個々の活動や生活における相談対応により地域との関わりを醸成。</p>		

### 4. 取り組みの検証／外部評価 (Check2)

<p>KPIに対する 事業の効果</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 有効であった</p>	<p><input type="checkbox"/> 有効とはいえない</p>
<p>内部評価に 対する評価</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 適当である</p>	<p><input type="checkbox"/> 適当ではない →</p>
<p>外部委員会(まち・ひと・しごと創生推進会議)からの意見</p>	<p>・アドレスの家の利用者情報などを今後の取り組みに生かされたい。</p>	

### 5. 取り組みの改善 (Action)

<p>外部委員会(まち・ひと・しごと創生推進会議)からの意見を踏まえた取り組み</p>	
---	--

# 令和5年度第1回普代村まち・ひと・しごと創生推進会議

## 議 事 録

### 1 開 会

#### (事務局)

ご案内いたしました時間がまいりましたので、只今から令和5年度第1回普代村まち・ひと・しごと創生推進会議を開会させていただきます。

本日進行を務めさせていただきます、政策推進室の佐々木と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

委員の皆様には、年末の公私共にご多忙のところ、本会議にご出席をいただき、誠にありがとうございます。また、このたび、前任の方のご異動により、本村まち・ひと・しごと創生推進会議の委員にご就任いただきました皆様には、快くご承諾いただきましたこと、誠に有難うございました。

次に、本日の会議内容についてですが、令和3年3月に作成いたしました、第5次普代村総合発展計画及び第2期普代村まち・ひと・しごと創生総合戦略に係る令和4年度事業及び令和5年度事業の進捗状況、令和4年度地方創生関連交付金等事業の効果検証作業になります。

本日は活発なご意見、ご提言を賜りますようよろしくお願いいたします。

それでは、はじめに柁屋村長よりご挨拶申し上げます。

### 2 村長あいさつ

#### (村長)

普代村まち・ひと・しごと創生推進会議の開会に当たり、一言ご挨拶を申し上げます。

委員の皆様方におかれましては、本村の諸々の村づくり事業の推進に格別のご指導とご支援を賜っておりますことに厚くお礼申し上げますとともに、本日も年末の公私共に大変ご多用中、令和5年度第1回推進会議にご出席を賜り、誠にありがとうございます。

また、新たに委員に就任をされた皆様にも、私からご承認をいただきましたことに対しまして深く感謝をさせていただきます。誠にありがとうございます。

さて、本村では、2年半前になりますか令和3年3月に、委員皆様からのご提言などをいただきまして、村の人口の将来展望を示します「人口ビジョン」と、それから、今後も続く人口減少と地域経済の縮小などを克服していくための基本施策や5年後までに達成すべき目標を掲げた、「第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定いたしまして、これの推進に鋭意努めておるところであります。

そして、その進捗状況、本日皆様はこの会議の中で報告させていただきますけれども、住民基本台帳における10月1日現在の1年間の人口減少は66名ということになってございます。要因別ですと、自然減がその2/3の42名、社会減の方が残り1/3の24名となっ

ておるとことでございます。全国的な状況と同様に少子化の影響により、依然として厳しい状況が続いておるといふふうな事でございます。

そして、この人口減少を出来るだけ抑制をしていかなければ、計画値よりも人口がどんどん減少してまいります。そのために村では、子どもを産み育てやすい環境づくりへのより一層の工夫が求められているというふうに考えてございますし、また、これをすぐすぐに、中々子どもを増やしていけないといったようなこともございまして、これを少しでも補っていくように移住・定住者の確保に力を入れていかなければなりませんし、その方々に来ていただくためには、我々、受入側の対応の充実といったような事にも、より一層の頑張り或いは村民の皆様の協力を得ていかなければならないというふうに思っておるところでございます。

本日は、令和4年度と5年度の各事業の進捗状況や成果・効果の検証などご協議をいただくこととしておるところでございます。是非、それぞれのお立場から、今後、この計画等がより質を高め推進できますように忌憚のないご意見・ご提言などを賜りますようお願いを申し上げます。開会にあたりましてのごあいさつとさせていただきます。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

### 3 委員紹介

#### (事務局)

ありがとうございました。

次に、次第3の委員紹介に移らせていただきます。

お手元に、資料1として、委員名簿を配付させていただいておりますのでご覧いただきながら、それぞれ自己紹介をお願いしたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

なお、本日はご都合により、普代村観光協会、宮田事務局長様、追手門学院大学地域創造学部、山本教授様、岩手大学農学部、三宅准教授様、普代村教育委員会、畠山委員様、久慈公共職業安定所、高橋所長様、普代村消防団、三船団長様、普代商工会青年部、金子部長の7名の委員の方は欠席となっておりますのでご報告いたします。

それでは、恐縮ですけれども、新岩手農業協同組合野田支所、支所長、高橋委員より自己紹介を順次お願いいたします。

(各自自己紹介)

ありがとうございました。

ここで、村長は他の公務がございまして退席をさせていただきます。ありがとうございます。

(村長退席)

それでは協議事項に入る前に、資料の確認をさせていただきます。

まず、本日の会議次第、次に、普代村まち・ひと・しごと創生推進会議設置要綱、次に、普代村まち・ひと・しごと創生推進会議委員名簿、協議事項（１）、普代村総合発展計画、人口ビジョン及び総合戦略の進捗状況について、協議事項（２）、地方創生関連交付金・地域再生計画事業の効果検証について、資料No.1、第５次総合発展計画及び第２期総合戦略事業実施計画等進捗状況調書、資料No.2、普代村まち・ひと・しごと創生総合戦略事業評価シート。以上の資料でございます。順次議事進行の中で、使用いたしますが、不足等はないでしょうか。

#### ４ 協議事項

##### （事務局）

それでは、協議事項に入らせていただきます。推進会議設置要綱第６条の規定により、会議の議長は会長となっておりますので、これからの進行については、高屋敷会長にお願いしたいと思います。高屋敷会長、どうぞよろしくお願いいたします。

##### 協議事項（１）普代村総合発展計画、人口ビジョン及び総合戦略の進捗状況について

##### （会長）

それでは、会長ということで規則に則り進行役を務めさせていただきます。あまり、進行役には慣れておりませんので、どうか皆様のご協力によりまして会議がスムーズに進むようご協力をよろしくお願いいたします。次第に沿って進めてまいりたいと思います。

協議事項（１）「普代村総合発展計画、人口ビジョン及び総合戦略等の進捗状況について」事務局より説明をお願いいたします。

##### （事務局）

それでは、協議事項、（１）の「普代村総合発展計画、人口ビジョン及び総合戦略の進捗状況について」ご説明いたします。

本村では、令和３年度から令和７年度までの５年間における村づくりの基本構想と基本計画を定めた第５次普代村総合発展計画の到達目標に向けて、第５次普代村総合発展計画事業実施計画を策定し、毎年度の進捗管理を行っています。具体的には、計画に掲げる各基本施策の指標の目標値の達成状況及び個別事業の進捗状況を確認するとともに、村政懇談会や議会意見を踏まえた内部検討、中長期重点課題に係る内部協議、外部有識者会議等の意見をもとに、予算編成作業で取り組みの確認及び見直しを行っています。

今回は、令和４年度の進捗結果及び令和５年度の進捗状況について報告します。

はじめに、「１ 普代村人口ビジョンにおける将来人口展望」でございます。資料No.1の１ページも併せてご覧ください。本村の人口ビジョンにおいては、「普代村まち・ひと・しごと創生総合戦略」を国、県の戦略を勘案した中で着実に推進し、人口の減少抑制を図り、出生率を国が目標とする２０３０年（令和１２年）までに１．８、さらには、２０４０年（令和２２年）以降に人口置換水準である２．０７まで回復させる出生率の向上と、社会増減ゼロを実現し、一定の人口抑制に努める中で、２０４０年（令和２２年）に１，８３８人、２０６０年（令和４２年）に１，３４５人程度の人口を確保することとしています。

本村の令和５年１０月１日現在の住民基本台帳人口は、２，３７９人（男１，１９５人、女１，１８４

人)、前年比△66人となっています。減少要因は、自然減42人(出生9人、死亡51人)、社会減24人(転入45人、転出69人)、年齢構成では、0-4歳人口が50人(前年比△2人)、15-49歳女性人口が292人(前年比△20人)となっています。

また、普代村人口ビジョンのR2計画値2,532人と比較すると3年間で△153人、減少率6.0%という状況です。

なお、普代村人口ビジョンにおける直近のR7計画値(目標値)は2,337人としており、今後2年間で42人以下の人口減少の抑制に取り組んでいくことが求められています。

次に、「2 第5次総合発展計画及び第2期総合戦略の目標指標の進捗状況」でございます。資料No.1の2ページ以降も併せてご覧ください。

はじめに、「(1)第5次総合発展計画に係る目標指標の令和4年度進捗状況(確定値)」ですが、第5次総合発展計画では、5つの基本目標の中の18の基本施策に関して62指標を設定しています。基本目標ごとの各指標の進捗状況についてご報告いたします。

基本目標1の「学ぶ喜びを村づくりにつなげよう」の各目標指標の進捗状況は、就学前教育及び社会教育等では、令和2年度から新型コロナウイルス感染症拡大の影響で施設利用制限や事業中止を余儀なくされていましたが、令和4年度は感染症対策の徹底を図りつつ可能な事業実施に努めたことから「はまゆり子ども園の地域イベント参加回数」は回復傾向にあります。学校等教育では、「不登校児童生徒出現率」が生じていることから、対象児童生徒それぞれにあった適時適切な支援の在り方を関係者で検討したうえで対応していくこととしています。また、コロナ禍においてGIGAスクール構想に基づき実施した「遠隔・オンライン学習の環境整備、GIGAスクール構想事業」により児童・生徒一人一台タブレット端末が整備され、「ICT活用数」の指標については順調に推移している状況となっています。

基本目標2の「未来を拓く活力ある産業を育てよう」の各目標指標の進捗状況は、水産業では、近年の地球温暖化の影響により、主要魚種である秋サケが不漁となる一方、イワシ・サバ等の好漁により「漁業販売取扱高」、「漁業販売取扱数量」は増加となりましたが、近年、頻繁に発生するスイクダムシによる被害や現下の原油価格高騰の影響により、養殖ワカメ・コンブの安定生産に支障が出る状況にあります。農林業では、コロナ禍の影響による消費低迷が続く中、「農業粗生産額」、「乾しいたけ販売数量」の農林産物の消費回復には至っていない状況となっています。商工業・起業促進・雇用対策では、「商工会会員数」は増加傾向にあります。観光では、「観光入り込み客数」、「三陸鉄道乗降客数」ともにコロナ禍前の観光客の需要回復には至っていない状況となっています。

基本目標3の「健やかに、そして安心して暮らせる環境をつくろう」の各目標指標の進捗状況は、保健・医療では、「特定健康診査受診率」は若干減少したものの、高齢者福祉では、コロナ禍における健康志向の高まりから「介護予防ボランティア育成数」、「緊急通報システム設置数」は増加傾向にあります。また、子育て支援・少子化対策では、令和4年4月から子育て世代包括支援センターが保健センター内に設置され、各関係機関との連携による子育て世代のライフスタイルに応じた子育て支援の取り組みが進められています。地域福祉では、共生社会実現への世界的意識の高まりから、地域福祉計画策定に向けたアンケート結果における「成年後見センター認知度」は増加傾向にあります。

基本目標4の「自然と共生する安全で快適な環境をつくろう」の各目標指標の進捗状況は、自然環境・環境衛生では、積極的な普及啓発活動などにより「生活系ごみ排出量」の減量化が図られている状況にあります。住環境・道路・簡易水道・汚水処理では、計画的な事業実施により「村道改良率」、「舗装率」、「水洗化率」の指標は順調に推移する一方、「村営住宅の新規整備戸数」は現時点での進捗はない状況ですが、既存村営住宅の長寿命化や村内一般住宅を買収し村営住宅化するなどの住宅対策の取り組みが実施されています。公共交通・情報・通信では、「三陸鉄道利用者数」、「村営バス等利用者数」とともにコロナ禍前までは回復しないものの、若干の増加傾向にあります。消防防災・防犯・交通安全対策では、「交通死亡事故の発生件数」は令和4年度の交通死亡事故は発生していません(累積2件)が、引き続き交通安全対策の徹底を図る必要があります。なお、「温室効果ガス総排出量削減率(その他部門)」の指標につきましては、今回より現段階で把握できる環境省の公表データを基に毎年の伸び率による簡易的な算定方法で算出した数値を計上しております。今年度、村においては普代村地球温暖化対策実行計画(区域施策編)の策定作業に取り組んでおり、併せて普代村地球温暖化対策実行計画(事務事業編)の現状値把握も行っておりますので、次年度にはその結果に基づき計上いたします。

基本目標5の「明日を拓く持続可能な仕組みをみんなでつくろう」の各目標指標の進捗状況は、地域づくり・移住定住・広聴・広報では、移住者誘致施策の推進により「地域おこし協力隊制度による定住者数」は累積で9人と順調に推移している状況にあります。行財政では、「財政健全化判断比率の実質公債費比率」、「村税の収納率」の指標は順調に推移し、財政の健全化が保たれている状況となっています。また、自治体DX推進の基本となる「マイナンバーカード交付率」は、国によるポイント付与などの取り組み等により、大きく増加しています。

次に、「(2)第2期総合戦略に係る目標指標の令和3年度進捗状況(確定値)」ですが、第2期総合戦略では、4つの基本目標に関して10指標を設定していますので、各指標の進捗状況についてご報告いたします。

「人口一人当たり村民所得水準」、「合計特殊出生率」については、目標水準を維持している状況にあります。また、「人口の社会増減ゼロ」については、令和4年度末時点で△8人と転入者は増加傾向にあり、引き続き、移住定住施策の推進を図ることが求められています。

次に、「(3)第5次総合発展計画及び第2期総合戦略事業実施計画の進捗状況」でございます。資料No.1の6ページから13ページは事業詳細となりますのでお目通しをお願いします。なお、青書き部分が、当初事業実施計画より追加となった事業となります。

令和4年度の事業実施計画では、124事業、総事業費1,187百万円の各事業を計画しました。基本目標毎の進捗状況は「表4」のとおりです。全体で、130事業、総事業費1,418百万円、進捗率119.5%という状況です。また、令和5年度の事業実施計画では、115事業、総事業費1,755百万円の各事業を計画しました。基本目標毎の進捗状況は「表5」のとおりです。全体で、137事業、総事業費1,742百万円、進捗率99.3%という状況です。

コロナ禍で、計画事業の中止・縮小を余儀なくされる一方、コロナ禍に加え原油価格・物価高騰など現下の社会動向に的確に対応するため、「物価高騰対策地域商品券給付事業」、



「電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援事業」など生活者・事業者の負担軽減に向けた新規事業が追加されています。また、日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震における津波浸水想定を踏まえた「防災ハザードマップ作成事業」、「防災行政無線屋外スピーカー増設事業」など防災・減災対策に向けた新規事業も追加されています。

以上で、協議事項の説明を終わります。

(会長)

はい、ありがとうございました。只今、説明が終わりましたが、事前に資料を配布しお目通しいただけたのかなと思いますけれども、委員の皆さまからご質問・ご意見等ございましたら、お願いいたします。どなたかございませんか？

(山本委員)

県北広域振興局の山本です。はじめてなので、私がわかってないだけかもしれませんが、お示しいただいている指標、実績値の中にそれぞれ※印で「まちづくりアンケート結果」となっておりR3、R4、R5と横棒になっています。これはアンケート調査が何年かに1回実施するからということで横棒になっているものかの確認と、7ページの基本目標5の1番、「地域おこし協力隊制度による定住者数」とありますが、定住者数というのは協力隊になった方の人数を累計で足しているのか、協力隊制度が終わって村に住んでいる方の数字を指しているのか、どちらかという所の確認をお願いします。

(会長)

はい、事務局よりお願いします。

(事務局)

1点目の「まちづくりアンケート結果」につきましては、本計画策定時にアンケート調査を実施しておりまして、次回は令和7年度の次期計画策定時に改めてアンケート調査を実施することとしており、計画最終年度のアンケート調査結果が実績値となるもので最終年度以前を横棒表記としております。2点目の「地域おこし協力隊制度による定住者数」につきましては、令和5年度9人の実績値となっておりますけれども、令和4年度末時点で卒業した隊員さんで定住されている方が3人、現に協力隊員として活動されている方が6人、そのようなカウントの方法としております。

(会長)

山本委員、よろしいでしょうか。現在も活動している6名の隊員の方も是非、定住できるような活動をしていただければと思います。そのほかございませんか？

(木村委員)

岩手日報の木村です。はじめて参加しておりますが、4ページの基本目標2、全体的に厳しい数値が並んでいる中で、水産業の「漁業販売取扱高」、「漁業販売取扱数量」の令和5年度がかなり良い数値となっているところで、これは何か具体的にこれが良くなったよ、という部分があるのか、わかるのであれば漁協の参事さんもらっしゃるので教えていただきたいという質問です。

(会長)

はい、事務局と漁協参事さんからもお願いします。

(事務局)

この数値は、普代漁協さんから村に提出される「普代村漁業協同組合業務報告書」に基づき計上している数値となります。報告書の内容によれば、昨年度はイワシ、サバの水揚げが増加している状況にあるようです。藤島委員さんから、詳細等について何かあればお願いします。

(藤島委員)

今年、海藻関係は芳しくなくゼロに近い状況でスタートはしましたが、サケもだめという中で10年位前からサバとイワシに特化した取り組みをしております。当時からサケは今後だめだろうとなっていて、それで設備投資をやって、そしてサバ・イワシに目標を定めてやった結果がこういうふうにはなっているんですけども、これは環境の変化を一早く取り入れたという、全国、九州とか四国とかネットワークを使って情報を集め、こういう魚種が取れなくなったとか聞くわけですよ、そうすれば、それに合わせて、こっちの方にこういう魚種が取れるのではなどの情報収集に努めた結果がこのようになっておりますが、これもいつまで続くかはわかりません。

今年、特にサバが前半から良いんですよ、久慈地区もそうですし、南の方も野田村を境に、野田の漁協さんもそうですし、うちもそうですが、久慈も最近、だいぶ、こっちの方に低下してきているんですけど、その結果がこういう形になったんじゃないかなと。

ただ、それをするにも今、国で魚種転換をしてサケに変わるもので採る漁業を改めて見直しをして魚種転換した方がいいんじゃないかっていう取り組みを去年から水産庁で発しているんですけど、去年から発しても簡単に魚種転換する方法って出来ないんですよ。特にうちの管内は定置で、定置は待つ漁業なんですけども、追いかける漁業と違い、そこでどうやってサバ、イワシを採るかかっていうことになれば、施設整備に相当のお金がかかるんですけど、それを今、出来るかっていうところが結構厳しい状況にあると思います。

おかげさまで、それを10年位前から何とかやりくりしている状況でここまで来てますし、できればこれ以上の数字をまた残したいなと思っておりますが、中々自然が相手ですのでアバウトなところもありますが、それで新しい魚市場の建設にも着手していただいて村には感謝をしておるところでございます。

(会長)

そのような回答ですがよろしいでしょうか。そのほかございませんか？

(橋本委員)

いくつかあるんですけども、1つ目は先程も話題にでてました、地域おこし協力隊の方の任期後の定住者数が、実質的には3名がお住まいになつてということですけど、多分、どういう分野ですね、どういうふうにして生活されていて、どういうお仕事をされて今おられるのかっていうのは、共有しておいてもいいのではないかなと思うんですね。それは、こういう方面だと実際に定着する実績があるっていうことになれば、どういう募集のかけ方をしたらいいかっていうことにも関係してくるかなと思うので、よろしければプライバシーに関わる部分でもありますが、あまりそういう所に関わらない範囲で簡単にお教えいただけたらということが1つ目です。

(事務局)

定着3名ということでございますが、普代村の方で地域おこし協力隊制度を活用したのが、確か平成26年度位からだだったと思います。実際、入られた方につきましては任期中、様々な活動をされており、はじめは情報発信系で入られたんだけど結果的に違うお仕事であったんですが、お一人は、豆腐屋さんの事業承継をされて今もそのご商売をされていらっしゃる方がお一人。それから、結婚されて今は子育て等もありますのでお仕事の方はされてないですが女性の方で結婚され定着されている方がお一人。お一人は、漁業の関係で、今ちょっといろいろな状況もあってメインで漁業という部分ではないんですけどもその方がお一人で、3名という内容となっております。ちょっと後段の説明でも出てくるんですけども交付金事業の方で、次の協議事項(2)の方で出てきますが、こちらの方が令和2年度からの事業で移住者誘致ということで、これはちょっと、その部分の方々の定着ということについては、実質的にまだ3年経ってる方がまさにこれから出てくるといったようなことになりますので、その成果については実質的にまだ出ていないということになります。それ以前の従前から取り組んできた中での3名の定着という内訳であればそういった内容となります。

(橋本委員)

ありがとうございます。もうちょっといいですかね。資料No.1の8ページ目のところですね、「“青の国”を生かした観光の振興を図る」というところですけども、コロナがありましたので新規事業も含めて中々動かない部分はあるかなと思うんですけども、ちょっと思ったのは、コロナの前に私自身も関わっていましたが「神楽の日～青の国編～」というのが消えてしまっていてですね、あれはもう中止されちゃったんですかね。ここにも全然出てないので、かなり成果はあったと思うんですね。それこそ、三陸鉄道の乗降者数にも影響しますし、かなり、県北の神楽の団体を集中的にお招きして、ここが県北における神楽の発表のセンターみたいになればというビジョンでもあったんですけども、これはどっかに隠れてるだけなのか、もう無くなっちゃったのかちょっと悲しいなと思って見ておりました。そこはいかがですか？

(事務局)

こちらは、普代村観光協会さん主体事業としてこれまでも開催しており、コロナ禍で定期公演としての開催はできてはおりませんが、ツアー客に対しての神楽を含めた郷土芸能披露をパッケージ化したツアー造成に取り組んでいるというのが現状でございます。

コロナ禍でちょっと中止せざるを得なかった期間もありまして、ただ、昨年度は、くろさき荘での公演はお泊りの方向けにはありますし、つい先日だとJALで企画したオーストラリアのメディアの方がトレイルを歩くツアーを、確か仙台から八戸まで入ってやったようなんですけども、こちらの方でも神楽をご覧いただいたと聞いております。色々なイベントであるとか、それに合わせて公演するという格好では実施しております。

(橋本委員)

もちろんその辺は承知しておるんですけども、現状、くろさき荘を舞台にして、いろんなツアー客に見ていただくってことは、ずっと以前から考えていたことではあったと思うん

ですけれども、神楽の日の計画ってというのは、今は村の事業ではなく位置づけとなるんですね。

(事務局)

以前より、普代村観光協会さんの事業として実施してきております。

(橋本委員)

是非、今後も成果はありますので、定期公演として開催していただければうれしいです。以上です。

(会長)

橋本委員さんよろしいですか。ほかにございませんか？

(山崎委員)

社会福祉協議会の山崎です。私の方からは、協議事項(1)の3ページ、基本目標1のところで「家庭教育セミナー等実施回数」、「ふだいまなび講座参加者数」がゼロということで、これは、コロナ禍の影響で開催できなかったのか教えてください。また、「不登校児童・生徒出現率」で、小・中での人数等を抑えていたら、教えていただける範囲でかまいませんので教えてください。あと、5ページの基本目標3で「緊急通報システム設置数」が増えたとありますが要因等わかればお願いいたします。

(会長)

事務局よりお願いします。

(事務局)

家庭教育セミナーとふだいまなび講座ですが、当初より開催する方向では進めてきておりましたが、コロナ禍も少し落ち着いてきた中でも、タイミング的に村内で少しでも発生してしまうと事業中止せざるを得ないという状況もあり、令和4年度も開催が出来なかったというものです。「不登校児童・生徒出現率」の小・中の割合というところは承知しておりますので後程にでもお知らせいたします。「緊急通報システム設置数」は、やはりコロナ禍での健康志向の高まりの中、この事業は独居世帯へ緊急通報システムを設置するものとなりますので、このような状況下で関係者の方々は安心を求める観点から設置が進んでいるという部分が大きいのかなと考えております。

(会長)

よろしいでしょうか。そのほかございませんでしょうか？

それでは、私から1点、9ページの進捗状況の中で、いろいろな事業を進め進捗率も高いわけですが、それでもなお人口減少が止まらないのが現状です。世の中の流れなのか、もっと新しい事業を考えた方が良いのか、どうなんでしょう？何かコメントがありましたらお願いします。

(事務局)

担当者の私見ではありますが、最初に人口ビジョンの中でもご説明をさせていただきましたが、一昨年と比較して、マイナス66人の人口減少で内訳は自然減が42人、社会減が24人という状況で、例えば、子育て世代への支援事業であったり、そういった部分を推進することで僅かながらでも人口減の抑制に寄与しているのではないかと考えていて、次の協議事項(2)で説明する移住者誘致事業の中でも、移住者を増やしていく中で社会減にも

歯止めはかかりますし、移住した方が定着・定住することによって新たな出生が生まれるということで自然減の抑制にもつながっていくので、これをやらなければ、マイナス 66 人という現状が、もしかすればマイナス 100 人だったかもしれないという状況だったかもしれないというふうにも考えておりました。

(会長)

何か違うことをやった方が人口減少抑制されたものか、日本全国どこも減っているでしょうから。何か違うものを考えた方が良いのではと思ったところです。

(事務局)

やはり、村で暮らし続けていただくためには、それぞれの事業毎に村の魅力を高める工夫をしていかなければとも考えております。

(会長)

はい、そのほかございませんか？

(橋本委員)

かなり前になると思うんですけども、確か、各地の先進的な取り組みをしている離島であるとか、そういう地の利的には普代村よりさらに条件のよろしくないようなところで、村の中で新しい産業をつかって、それがインターネットとか、また、新しいタイプのものである場合もあれば、地場産業を会社にして売り出していっている、そのことでかなり利益も上げて人口が増えてきてるっていう、職員さんたちがかなりあちこちに研修に行かれたということがありましたよね。今、会長のお話で新しいことっていうので、やっぱり思うのは、当初、以前は交流人口みたいなことを結構言ってたと思うんですけども、ただ、コロナが何もかも滅茶苦茶にしまったところがあって、今、交流人口っていうと、言うこと自体がほとんど意味のない状況がずっと続いてたわけですけど、今もまだいつまで続くかわからないですし完全になくなったわけじゃないでしょうから、ただちに、コロナ前の状況にもう一度、取り組みましようっていうのは難しいとは思いますが、やはり、この現状でいうと人口を増やしていくということと別の指標、交流人口をもっと増やしていくとか、そうした時に、せっかく以前、視察に全国各地に行ったと思うんですけども、その発表も伺った記憶はありますので、なんかそういうことを踏まえて、新しいことっていう会長がおっしゃったように、産業をつくるとか、くろさき荘もそういう会社がいってもらえるような拠点にできないかっていうお話しで、今日の、事前におこなったの一部の視察研修のお話しはその一つかもしれませんが、もっといろんなアイデアが当時はあったような気がするんですけども、それが、今度の協議資料(2)のところでもう一度ご検討いただけたらいいのではないかなというふうに、ちょっと先走った発言ですけども思っております。以上です。

(会長)

それでは、コメントを含めて協議事項(2)の方でお願いします。その他ございませんか？  
無いようであれば、次の協議事項に進みます。

次に協議事項、(2)の「地方創生関連交付金・地域再生計画事業の効果検証について」を議題といたします。事務局より説明をお願いします。

## (事務局)

それでは、協議事項、(2)の地方創生関連交付金・地域再生計画事業の効果検証について」ご説明いたします。

令和5年12月1日、令和5年度第1回普代村地域創生・人口減少対策本部会議において下記のとおり令和5年度における地方創生関連交付金・地域再生計画事業の内部効果検証作業を実施いたしました。国の地方創生関連交付金・地域再生計画事業においては、外部機関による事業効果検証が義務付けられており、下記について取り組みの検証と外部評価をお願いするものです。

令和4年度における地方創生関連交付金・地域再生計画事業は、「資料No.2 普代村まち・ひと・しごと創生総合戦略事業評価シート」となりますので1ページ目をお開き願います。

「①多様なワークスタイルの実現による移住者誘致と持続可能な普代村の創出事業」でございます。

地域資源を生かした仕事や暮らしの創出による移住者の誘致と、子育て支援をはじめとする定着のための支援を総合的に展開し、都市部から村への人の流れを確かなものとし、持続可能な普代村の実現を目指すことを目的とし、地域への移住者受入体制の推進に向け取り組んだ事業となります。

事業概要としては、村内に地域資源を生かした「仕事」や「仕事の場所」を創出し、移住者を誘致し、誘致した人材等が村内に定着するための伴走支援を行っていくもので、こうした取組全体を全国に発信しながら将来的な移住者誘致にもつなげていこうとするものです。

令和4年度は委託先である株式会社アースカラーと移住者誘致と仕事づくりの分野において連携し、「水産業振興人材」、「空き家利活用人材」、「DX 推進人材」、「萩牛集落支援&鉄山染め人材」の4つの仕事モデルの企画・制作を行いました。また、「森のようちえん人材」、「サードプレイス人材」、「林業プロジェクト人材」の3名の移住者誘致のほか、移住者の伴走支援、コワーキングオフィス(BLEU BASE FUDAI)の振興、留村プログラムの運営、移住定住支援特設WEBサイトの構築を行いました。

取組の検証及び内部評価結果につきましては、設定した2つのKPIの令和4年度末における進捗状況は、①普代村の地域課題解決に資する仕事モデル数が進捗率110.0%、②仕事モデルに従事する移住者数が進捗率90.9%となっています。

また、プロジェクト内容・成果の情報発信と住民理解の醸成が課題と捉えており、広報や独自通信の発行など定期的活動内容の情報発信や成果報告会の開催など継続した取り組みを行っていくこととしております。

令和4年度末で、「普代村の地域課題解決に資する仕事モデル数」として累計で11の仕事モデルを企画・制作(青の国ふだいサービスデザイナー、和村邸人材、森のようちえん人材、くろさき荘魅力化人材、農業プロジェクト人材、林業プロジェクト人材、サードプレイス人材、水産業振興人材、空き家利活用人材、DX 推進人材、萩牛集落支援&鉄山染め人材)し、累計で10名の仕事モデルに従事する移住者が誘致され目標指標は概ね順調に推移している状況や毎年実施する「留村プログラム」の参加者から移住へつながるケースが多いことから、内部評価結果については、現状維持での取り組みを進めることとしたものであります。

(会長)

はい、ありがとうございました。

ただいま、「多様なワークスタイルの実現による移住者誘致と持続可能な普代村の創出事業」の取組状況と内部検証・評価を説明いただきました。ご質問・ご意見等ございましたら、お願いいたします。

(山崎委員)

11の仕事モデルを作られて、累計で10名の移住者誘致につながったということですが、そこで、だぶっている分野もあるかもしれませんが、まだ、応募のない仕事分野、移住者の状況について教えてください。

(事務局)

令和4年度末での仕事モデルの企画・制作は11モデルとなりますが、令和4年度に制作された、水産産業振興人材、空き家利活用人材、DX推進人材、集落支援&鉄山染め人材の4モデルについては令和5年度中からの募集開始を行っているところです。

移住者誘致数は、累計で10人となりますが本KPIには離職された方もカウントしておりまして、令和4年度末では実質6人となり内訳は、青の国ふだいサービスデザイナー1名、森のようちえん2名、農業プロジェクト人材1名、サードプレイス人材1名、林業プロジェクト人材1名となっております。

(会長)

農協さん、森林組合さんもいらっしゃるところでお聞きしたいのですが、今、農業プロジェクト人材1名、林業プロジェクト人材1名ということで入っております。非常に、農業の方も林業の方も時代に反した、表現は良くないですが、馬を使って畑を耕すとか馬を使って木を出すとか、世の中では考えられないんだけど、それで生業として農業、林業としてやっていけるのか考えたときにどうなのか、それで生活ができるのかという部分をお伺いしたいと思います。

(高橋委員)

魅力という部分でやっていく、実際の生活という部分でやっていく、個人的な意見とはなってしまうんですが、山に魅力があって求め望んで、それを生きがいとするっていう部分もあると思いますし、じゃあ実際、生活っていう部分は、やはり、その人の価値観というところも出てくると思うので、ちょっと個人的な意見になって大変すみませんけども、答えにはなりませんけどそういう感じがします。実際、やはり担い手とかそういった部分で移住している方もいますし、家族で家庭菜園、家族で食べる部分の農業という方もいますし、そこは何とも言えませんが、やはり入ってきてる方は、村の魅力があって多分、移住していると思うので、そこはちょっと私的には回答できませんがよろしく申し上げます。

ついでにちょっと、マイクをいただいたので、定住者の方は地域おこし協力隊の方が入ってきて増えているということで、そういった方が増えてくれば、今後、変わっていくのかなと思ったところです。結構、そういった方々が村の情報を発信していってくれると思うので、事業を拡げていければ、ちょっとまた変わってくるのかなと思います。

(澤口委員)

結構 NHK なんかで、九戸村や遠野市とかで林業女子ということで結構盛り上がってきているんですが、やっぱり、今、Z世代ということで若い人たちが環境に良いことをしたいと損得はどうでもいいという考え方の女性が多いです。組合に入ってくる若い方々も関東方面からも来るんです。私たちとは感覚がちょっと違い、私たちが変わっているのかもしれませんが、そういう時代の人たちも多いので、ちょうどよく、この皆さんがテレビなどで発信していただければ、逆にそういう人も増えてくるのかなと。ただ、危険が伴うということも承知できてほしいし、うまく利用して地域の皆さんと進めていければ地元の若者もまた見直す部分もあるのかなと思っております。

(事務局)

大変、貴重なご意見ありがとうございました。はじめに、発信の部分でございますけれども確かに重要で、どれぐらい増やせばという部分もあるんですけども、定着との兼ね合いもあります。一応、交付金事業自体は令和6年度までということで、この格好でローリングはしていくんですけども、やはり、それだけでスタートしてここで終わりですということでもないですし、増えてくることによって、お仕事もそうですが地域での色々な活動ですね、そういった部分にもすごく入っていただいている郷土芸能に入ったりとか消防団やったりとか、コミュニティの維持にもつながっていますので、移住者の方、また、その方が結婚して子どもができた方もいらっしゃるんですけど、その方々だけで減少を補えるものではないんですけども若い方々が生む効果というか、積極的に活動する思いを持っていらっしゃる方が多いので、そういう方々が地域の中で、少し停滞とは言わないですが人手不足のいろんな活動に入っていくことは、都会の方からすると、そういった中々体験できないものが、この普代村なら実現できるという見え方があり、そういったことで人が人を呼ぶというようなブームが若干ございまして、そのあたりを委託事業者さんとも連携しながら発信をしております。

全体的にというよりもホームページは整理しまして、今時といたしますか移住部分については作り直したところであるんですけども、中々、今、やっぱり移住戦国時代といたしますか、言い方は悪いですが取り合いじゃないですけども、やはり西の方が強いと言われてます。西高東低でありまして、その中でアースカラーさんの方では、移住者誘致に定評があり、様々なサイトを使ってですね、単に応募を待つだけではなくて、興味があるという方の属性に訴えかけてですね、こういった魅力が普代村にはあります、こういったことが実現できるでしょうといったことをこちらから投げかけて、何度も何度も面談を重ねて、ようやく決断されてきた方と一緒に話をしていくというやり方で進めているつもりです。中々、取り組みがわからないというのはご指摘等を議会でもいただくことあるんですけども、その辺を丁寧に、外向けもそうですし、村民の皆さんにもよりわかっているよう広報とか報告会とか含めてやっていければと思っております。

それから、Z世代という環境の話なんですけども、中々やっぱり感覚が違うというか、ちょっとびっくりするようなことはよくあります。言い方があれですけども、会社を辞めてやってくる方もおられますし、お金のためだけじゃないと思いますけども、私も実際、「やめてこられるんですか？」と思うところも正直あったりはしますが、それでも、やっぱり覚悟を



決めてきていると思うんです。協力隊の任期自体は3年間ですが、その中で出来るだけ想定したモデルの中で自活できるサポートの部分を生懸命させていただいて、結果的にそれが上手いかないパターンもひょっとしてあるのかもしれないんですけども、やりたい人がチャレンジできる土俵というのはつくっていく中で出来る限りのサポートし、仕上がりとして結果違ったとしても、やはり普代をいいと思っていただいて、実際、先程の豆腐屋さんの話しではないですが転じてそういったパターンもあったりもしますし、いい人と出会えて結婚したパターンもある、様々あると思います。どのように転じるか正直なところ協力隊のはじめの段階ではわからないところもあるかと思しますので、一つ一つ、お一人お一人の方と丁寧にお話ししながら、決断した決断のサポートをまずしっかりとすることが必要なのかなというふうに思っております。ちょっと長くなりまして申し訳ございません。

(会長)

はい、ありがとうございます。

先程、橋本委員さんから過去に実施した視察研修の質問がありましたが、それに対するコメントは事務局からございますか？

(事務局)

そうですね、当時、平成28年にこの推進会議のメンバーと若手職員などの関係者でグループごとに、北海道ニセコ町、島根県海士町、徳島県神山町、近場で青森県の4か所の視察を実施させていただきました。北海道のニセコ町の視察内容を受けて、今の株式会社青の国ふだいの第三セクターの立上げに至っておりますし、また、徳島県神山町の視察においては、インターネットが100%普及しているということで企業、移住者の誘致につながっている先進地でございました。そういった部分が今の移住者誘致の取り組みにもつながっていると思っております。それは、移住者を呼び込むために訴えかける重要なコンテンツが必要な中で、村では子育ての部分を中心に大きく出して森のようちえの取り組みであったり、子育て世代への支援など、そのような部分につながっているものと考えておりました。

(会長)

橋本委員さん、よろしいでしょうか？

(橋本委員)

言われてみると確かにと思うんですが、あのときは、海士町の冷凍技術とかを洗練されてかなり遠くまで海産物、水産関係を発信していけるということがあって、それを普代村なんかでもすごく、だから海士町にも行ったんでしょうけど、徳島県は、僕もだいたい前なんて思い出せないんですけど、「もみじの葉っぱ…、それは上勝町か、それは別か。」産業を作るってということで、ここで仕事になるようなインターネットの会社に来てもらうっていうだけではなく、ここにもともとある産業の資源を利用した会社化をしていくみたいなことは、ちょっとまだ行けてないよなと思うんですけど、そこはあれもこれもというのは難しいかもと思うんですけど、今のお話し伺って確かにつながっているのかなと思いましたが、あのとき非常に強い印象を受けたのは、海士町の事例が適応可能だよなと思ったんですが、そこは何かありますか。



ということで、これに対しての年齢構成とか職業はなにかとか目的は何かという部分を十分に把握しきれていないように感じたので、利用者情報をデータとして残しながら、次への取り組みに活かしていただきたいと思います。

(会長)

はい、ありがとうございます。

そのようなご意見が出ております。そのほかにございませんか？

それでは、本会議での意見としては、「KPIに対する事業の効果」は「有効であった」、「内部評価に対する評価」も「適当である」、今、ご意見がございましたが、稼働率が70～80%となっているが利用者の目的とか年齢、今後のためにもそういった情報を残しながら次の取り組みに活かしていくべきではというご意見がございます。

そのような、評価でよろしいでしょうか？

(各委員)

異議なし

(会長)

意義なしということで、協議事項の一切が終了いたしました。スムーズな議事進行にご協力いただきありがとうございました。それでは、事務局に進行をお返しいたします。

(事務局)

ありがとうございました。

先程の説明部分で1点だけ回答の訂正をさせていただきます。資料No.2のKPIのところですが、仕事モデルに従事する移住者数の累計が10人はそのとおりです。令和4年度末時点で仕事モデルに従事する移住者数10人で押さえております。その内、辞められてしまった方もいるとお話をさせていただきましたけども、令和4年度末で残念ながら辞めてしまった方はお二人ですので、令和4年度末での実質の在籍者は、先程6人と申し上げましたが8人の誤りでした。大変申し訳ございません。

## 5 その他

(事務局)

ありがとうございました。

本日いただきました、ご意見、そして外部評価結果については、予算編成作業や対策本部会議等で協議検討の上、次年度以降の事業に反映していくよう取り組んでまいりますので、今後とも村の地方創生の取組みにつきまして、ご理解、ご協力を賜りますようお願いをさせていただきます。

## 6 閉会

(事務局)

それでは、以上を持ちまして、令和5年度第1回普代村まち・ひと・しごと創生推進会議を終了いたします。ありがとうございました。